

社団法人 埼玉県経営者協会会報



6・7

'14 月号

新任理事・副会長に池田一義氏（株）埼玉りそな銀行代表取締役社長）、満岡隆一氏（ボッシュ（株）専務取締役）、山内真輝氏（東京ガス（株）埼玉支社長）の三氏を選任、二六年度事業計画、定款変更等全議案を承認

平成二六年度定時総会

特別講演「神戸大学大学院経営学研究科教授 三品和広氏が「リ・インベンション」日本企業の革新の方向性を示す」と題して講演

平成二六年度定時総会は、五月十四日（水）三時三〇分からパレスホテル大宮にて開催された。

当日は各界のご来賓の方々並びに会員を合わせて三〇〇名の方々にご参加いただいた。

第一部は、西村会長の開会挨拶にはじまり、続いて、ご来賓を代表して、安藤久佳経済産業省関東経済産業局長、坂本正喜財務省関東財務局長、代田雅彦厚生労働省埼玉労働局長、関根郁夫埼玉県教育委員会教育長、小林直哉連合埼玉会長の五氏が

ら祝辞を頂戴した。

次にご来賓紹介、定足数確認後、西村会長が議長となり、審議が進められ、平成二六年度事業計画・収支予算、定款変更、理事・副会長の選任など、以下の議案すべてが原案通り承認された。

【議案】

- 一、平成二五年度事業報告
- 二、平成二五年度決算報告
- 三、平成二六年度事業計画
- 四、平成二六年度収支予算
- 五、定款の変更
- 六、理事・副会長の選任

続いて、西村会長から以下の一〇名の新規会員をご紹介いただいた方々に対し、感謝状と記念品の贈呈が行われた。

- ・池田一義氏（株）埼玉りそな銀行代表取締役社長
- ・加藤喜久雄氏（株）武蔵野銀行取締役頭取
- ・藤原健氏（日本信号（株）取締役常務執行役員）
- ・齊之平伸一氏（三州製菓（株）代表取締役社長）
- ・山口宏樹氏（埼玉大学学長）

・吉野寛治氏（吉野電化工業（株）代表取締役社長）

・牧 毅氏（東京ガス（株）広域圏営業本部広域圏企画部長）

・川本武彦氏（株）サイサン代表取締役

・大野元裕氏（株）ゼネラルサービス取締役

・矢部和幸氏（丸和セレクトホーム（株）代表取締役社長）

なお、当日欠席された栗林茂氏（株）光エンジニアリング代表取締役にも新規会員のご紹介をいただいております。

その後、感謝状、記念品を送付いたしました。

その後事務局報告が行われ第一部を終了した。

第二部の講演会では、日本を代表する経営学者である神戸大学大学院経営学研究科教授三品和広氏より「リ・インベンシ

ン」日本企業の革新の方向性を示す」と題して講演が行われた。講演の概要は以下の通り。

◇講演の概要

・日本企業はこれまで数多くのイノベーションを生み出し、世界での地位を高めてきた。しかし今、イノベーションを追及してきたはずの日本の有名企業が次々と経営不振に陥っている。

・イノベーションはライフサイクル上の成長期においては、その成果としての新機能、新技術が購買意欲を刺激し、大いに効力を発揮する。しかし成熟期や衰退期に入ると、市場の関心は価格に移り、イノベーションの効力は格段に落ちる。イノベーションを追求する日本企業はこのことに気付かず、イノベーションに多大な資源を投入し、失敗を繰り返している。では、日本企業はどうすべきか。その答えが「リ・インベンション」



平成26年度定時総会



議事を進行する西村会長



講演する三品和広氏



監査報告をする中込秀明監事



講演謝辞を述べる藤池誠治副会長

である。リ・インベンションとは、過去の価値基準から脱却し、先駆的かつ実践的な創作に挑戦し、新たな価値基準を打ち立てることである。

・そしてリ・インベンションの鍵を握るのは、個人の挑戦する姿勢であり、企業家精神の発揮である。その後、休憩を挟んで第三部の懇

新任副会長の紹介

□池田一義(いけだかずよし)氏



親会に移った。懇親会は椎名幹芳副会長の開宴挨拶に始まり、続いて上田清司埼玉県知事、清水勇人さいたま市長よりご挨拶を頂戴し、その後山口宏樹埼玉大学学長の乾杯の音頭で懇親の宴がスタートした。そして、会員同士の懇親が大いに図られ、池田一義副会長の閉宴の挨拶で懇親会は終了した。

務) 二〇〇四年六月 近畿大阪銀行取締役

二〇〇六年六月 りそなホールディングス執行役員グループ戦略部(新規事業担当兼システム部担当)りそな銀行兼務)

二〇〇七年六月 同執行役員グループ戦略部長兼コーポレートコミュニケーション部担当

二〇〇九年六月 りそな銀行常務執行役員オペレーション改革部担当

二〇一〇年六月 同執行役員グループ戦略部担当兼IT企画部担当

二〇一〇年六月 りそなホールディングス執行役員オペレーション改革部担当兼購買戦略部担当兼IT企画部担当

二〇一〇年六月 りそな銀行取締役

二〇一一年六月 りそな銀行取締役兼専務執行役員オペレーション改革部担当兼システム部担当

二〇一三年四月 埼玉りそな銀行代表取締役副社長兼執行役員営業サポート本部長兼資金証券部担当

二〇一四年四月 同代表取締役社長りそなホールディングス執行役員グループ戦略部(埼玉りそな銀行経営管理)担当

二〇一四年四月 同代表取締役社長りそなホールディングス執行役員グループ戦略部(埼玉りそな銀行経営管理)担当

二〇一四年四月 りそなホールディングス執行役員企画部IR室担当兼広報部担当兼コーポレートガバナンス事務局担当(りそな銀行兼

支店長
一九九八年十一月 同企画部副部長
二〇〇一年四月 同秘書室秘書役
二〇〇二年四月 同秘書室長
二〇〇三年六月 りそなホールディングスコーポレートガバナンス事務局部長兼りそな銀行コーポレートガバナンス事務局部長
二〇〇四年四月 りそなホールディングス執行役員企画部IR室担当兼広報部担当兼コーポレートガバナンス事務局担当(りそな銀行兼

業部長
二〇〇八年七月 常務執行役員シャシシステムブレーキ(JB)事業部長
二〇一四年四月 埼玉支社長

□満岡隆一(みつおかりゅういち)氏



一九五八年生まれ

【学歴】一九八二年三月

九州工業大学工学部卒業

【職歴】一九八二年四月 テーゼル機器(株)(現・ボッシュ)入社

二〇〇〇年一〇月 F1生産企画部門試作部長

二〇〇二年七月 パワートレイン

(JP) 事業部製造部門GM兼東

二〇〇三年二月 パワートレイン

(JP) 事業部製造部門SGM兼

東松山第一工場長

二〇〇五年三月 執行役員パワート

レイン(JP) 事業部製造部門長

二〇〇五年七月 執行役員ディーゼ

ルシステム(JD) 事業部製造部

門長
二〇〇七年一月 常務執行役員ディ

ーゼルシステム(JD) 事業部製

□山内真輝(やまのうちまさき)氏



一九六一年生まれ

【学歴】一九八五年三月

学習院大学法学部卒業

【職歴】一九八五年四月 東京ガス(株)入社

二〇〇三年七月 リビング企画部神

奈川リビング営業部営業推進グル

ープマネージャー

二〇〇五年四月 神奈川ホームサー

ビス事業部神奈川リビング営業部

部長

二〇〇七年四月 リビングマーケット

イング部マンションエンジニアリ

ング営業推進グループマネージャ

ー

二〇一一年四月 ライフバル推進部

部長付

二〇一二年四月 ライフバル推進部

経営支援グループマネージャー

二〇一四年四月 埼玉支社長

目次

○平成二六年度定時総会	一〇五
○第一回・第二回・第三回トップ	七
セミナー	六
○第二回特別セミナー	七
○第一回介護ビジネス研究会	八
○第一回・第二回・第三回人事労	八
務委員会	九
○第一回農業ビジネス研究会	九
○第一回グローバル委員会	一〇
○第一回地域社会問題委員会	一〇
○埼玉県産業労働部主要施策説明	一〇
会	一〇
○青年経営者部会四月例会・定時	一〇
総会	一〇
○連載この人・会員企業紹介(株)	一〇
スタック増田文治社長・広告	一〇
一四〇一三	一〇
○地区会員企業のホットな話題	一四
一四〇一五	一四
○埼玉大学研究者との出会いの広	一六
場	一六
○連載「ものづくり大学」へよう	一七
こそ	一七
○暑中お見舞い申し上げます	一八
一八〇一十九	一八
○平成二六年度インターンシップ	二〇
ガイダンス	二〇
○調査報告	二一
二一〇二六	二一
○会員親睦ゴルフ	二七
○ワンポイント労働法・採用に関	二八
する教育長からの要請	二八
○埼玉県からのお知らせ	二九
○日本経団連 提言・提案	三〇
○事業だより、こんな時にこんな	三一
ことを、広告	三一
○告知版、会員の動き	三二
三二	三二

ご来賓

(敬称略・順不同)

- ▽埼玉県知事 上田清司
- ▽さいたま市長 清水勇人
- 《講師》
- ▽神戸大学大学院経営学研究所 教授 三品和広

《国関係》

- ▽経済産業省関東経済産業局長 安藤久佳
- ▽財務省関東財務局長 坂本正喜
- ▽財務省関東財務局長 総務部長 小原 昇
- ▽財務省関東財務局長 財務広報相談室長 森尾みゆき
- ▽厚生労働省埼玉労働局長 代田雅彦
- ▽厚生労働省埼玉労働局長 総務部長 木幡繁嗣
- ▽厚生労働省埼玉労働局長 労働基準部長 橋本和隆
- ▽厚生労働省埼玉労働局長 職業安定部長 齋藤明男
- ▽厚生労働省埼玉労働局長 雇用均等室長 絹谷よし子
- ▽厚生労働省埼玉労働局長 企画室長 吉原和子
- ▽厚生労働省埼玉労働局長 職業安定課長 鈴木良尚
- ▽厚生労働省埼玉労働局長 職業対策課長 加藤秋雄

《県関係》

- ▽産業労働部 産業労働部長 山中 融
- ▽産業労働部 産業労働政策課長 板東博之
- ▽産業労働部 産業支援課長 正能修一
- ▽産業労働部 勤労者福祉課長 齋藤和也
- ▽産業労働部 就業支援課長 堀口幸生
- ▽産業労働部 ウーマノミクス課長 野尻一敏
- ▽産業労働部 産業人材育成課 副課長 福島真一郎
- ▽産業労働部 勤労者福祉課 副課長 稲葉 岳
- ▽産業労働部 ウーマノミクス課 副課長 大木正仁
- ▽産業労働部 ウーマノミクス課 主幹 大木正仁

- 主査 多久島康寿
- ▽産業労働部 勤労者福祉課 主査 脇谷知彦
- ▽埼玉県産業技術総合センター センター長 牟田口照恭
- ▽埼玉県産業技術総合センター 副センター長 鈴木康之
- ▽県民生活部 国際課長 矢嶋行雄
- ▽県民生活部 広聴広報課長 下田正幸
- ▽県民生活部 共助社会づくり課長 加藤 繁
- ▽埼玉県教育委員会 教育長 関根郁夫
- ▽埼玉県教育委員会 県立学校部長 春山賢男
- ▽埼玉県教育局 県立学校部参事兼高校教育指導課長 高田直芳
- ▽埼玉県教育局 県立学校部 高校教育指導課 主席指導主事 武内直郎
- ▽埼玉県教育局 県立学校部 高校教育指導課 主幹兼主任指導主事 内田 靖
- ▽埼玉県教育局 県立学校部 高校教育指導課 主幹 南雲世匡
- ▽埼玉県教育局 県立学校部 高校教育指導課 指導主事 遠藤智久
- ▽埼玉県教育局 県立学校部 高校教育指導課 指導主事 堀口利樹
- ▽埼玉県労働委員会 会長 石田 真
- ▽埼玉県労働委員会 事務局長 鈴木 享
- ▽埼玉県労働委員会 使用者委員 安藤嘉明
- ▽埼玉県労働委員会 使用者委員 柳沢幸一
- ▽埼玉県労働委員会 使用者委員 石川義明
- ▽埼玉県労働委員会 理事長 金子寿男
- ▽（公財）埼玉県国際交流協会 グローバル人材育成センター センター長 加藤哲之
- ▽（公財）埼玉県国際交流協会 グローバル人材育成センター 副センター長 田口芳弘

《市関係》

- ▽さいたま市 経済局長 岡安博文
- ▽さいたま市 市民・スポーツ文化局長 野間 薫
- ▽さいたま市 市民・スポーツ文化局長 柳沼清彦
- ▽さいたま市 市民・スポーツ文化局長 新井正美
- ▽（一社）埼玉県商工会議所連合会 会長 松永 功

《商工団体関係等》

- ▽（株）埼玉りそな銀行 執行役員埼玉東地域営業本部長 小泉公彦
- ▽（株）埼玉りそな銀行 執行役員埼玉西地域営業本部長 中村信也
- ▽（株）埼玉りそな銀行 公共法人部長 持田光司
- ▽（株）埼玉りそな銀行 県庁支店長 田中 洋
- ▽（株）武蔵野銀行 常務執行役員本店営業部長 渡辺 稔
- ▽（株）武蔵野銀行 常務執行役員地域サポート部長 宮崎裕雅

- ▽埼玉県中小企業団体中央会 会長 星野 進
- ▽埼玉経済同友会 代表幹事 利根忠博
- ▽埼玉経済同友会 代表幹事 加藤喜久雄
- ▽（公財）埼玉県産業振興公社 理事 秋山秀次郎
- ▽（公財）埼玉県信用保証協会 会長 後閑 博
- ▽（公財）埼玉県産業文化センター 理事長 相川 博
- ▽埼玉県商工会連合会 専務理事 川上和宏
- ▽（公財）さいたま市産業創造財団 理事長 山縣秀司
- ▽（公財）さいたま市産業創造財団 監事 江田元之
- ▽（公財）産業雇用安定センター 埼玉事務所長 渡辺邦男
- ▽埼玉県職業能力開発協会 事務局長 堀口雅彦
- ▽埼玉県雇用対策協議会 専務理事 神山哲雄
- ▽（独）高齢・障害・求職者雇用支援機構埼玉職業訓練支援センター 所長 横田 昭

《経済界関係》

- ▽（株）埼玉りそな銀行 代表取締役社長（新副会長） 池田一義
- ▽（株）埼玉りそな銀行 取締役 中尾安志
- ▽（株）埼玉りそな銀行 執行役員埼玉営業本部長兼公共法人担当 中野真治
- ▽（株）埼玉りそな銀行 常務執行役員埼玉北地域営業本部長 関川朋史
- ▽（株）埼玉りそな銀行 常務執行役員埼玉中央地域営業本部長 藤田正幸

《大学及び研究機関》

- ▽埼玉大学 学長 山口宏樹
- ▽埼玉大学 理事・副学長 佐藤勇一
- ▽埼玉大学 副学長 伊藤博明
- ▽埼玉大学 経済学部副学部長・教授 禹 宗 杭
- ▽埼玉大学 オープンイノベーションセンター センター長 綿貫啓一
- ▽埼玉大学 オープンイノベーションセンター 准教授 橋本 智
- ▽埼玉大学 研究協力部長 大城 功
- ▽埼玉大学 参事役 甘楽一男
- ▽ものづくり大学 理事長 石岡慎太郎
- ▽ものづくり大学 名誉教授 上田惇生
- ▽埼玉県立大学 学長 三浦宜彦
- ▽埼玉県立大学 事務局長 伏野 誠
- ▽日本労働組合総連合会埼玉県連合会 会長 小林直哉

《報道関係》

- ▽（株）埼玉新聞社 代表取締役社長 小川秀樹
- ▽（株）埼玉新聞社 編集局報道部副部長経済担当記者 菊地正志
- ▽（株）テレビ埼玉 代表取締役社長 平本一郎
- ▽（株）テレビ埼玉 取締役総務局長 小嶋一晃
- ▽日本経済新聞社 さいたま支局長 長田 正
- ▽日刊工業新聞社 さいたま支局長 豊田国寿
- ▽時事通信社 さいたま支局長 中谷真司
- ▽（株）ぎょうせい 石川章一郎

《関係団体》

- ▽Great Place to Work Institute Japan 代表 岡元利奈子
- ▽Great Place to Work Institute Japan 副代表 平田英司
- ▽外井（T O I）法律事務所 弁護士 外井浩志
- ▽日本ホスピタリティ・マネジメント学会 理事 加地照子



ご来賓の代表の方々



役員一同



26年度定時総会 アルバム

来賓祝辞 小林直哉連合埼玉会長



来賓祝辞 関根郁夫埼玉労働局長



来賓祝辞 代田雅彦埼玉労働局長



来賓祝辞 坂本真喜関東財務局長



来賓祝辞 安藤久佳関東経済産業局長



理事・副会長に選任された池田一義氏 満岡隆一氏 山内真輝氏（右から）



新規会員をご紹介いただいた方々



懇親会 開宴挨拶 椎名幹芳副会長



懇親会 来賓祝辞 上田清司埼玉県知事



懇親会 来賓祝辞 清水勇人さいたま市長



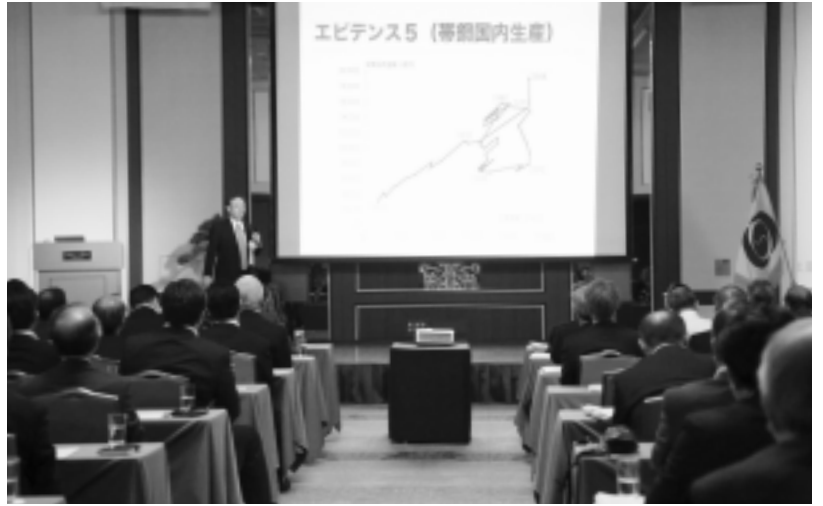
懇親会 乾杯挨拶 山口宏樹埼玉大学学長



中締めをする池田一義副会長



講演会風景



懇親会乾杯



懇談する参加者

平成二六年度第一回トップセミナー

『イノベーション実践研修』開催 講師 一橋大学イノベーション 研究センター准教授清水洋氏

仕事で求められるイノベーションとは何か、そしてその土台となるスキルであるクリエイティビティについて学び、学習内容をもとにケーススタディを行う、新しい研修「イノベーション実践研修」を二六年度第一回トップセミナーとして、四月十七日(火)九時三〇分よりソニックシティイビル四階市民ホールにおいて終日のプログラムとして開催し、十八名が参加した。

研修風景



講演する清水洋氏

本イノベーション実践研修は一橋大学イノベーション研究センター准教授でイノベーションと企業の競争力、産業の成長等を研究テーマとしている清水洋氏を講師として、経営者、管理者、今後のリーダー候補者を対象に以下のようなプログラムで開催されました。

□プログラムの概要

一、キックオフ・レクチャークー「イノベーションとは」

①なぜイノベーションが大



研修風景



- 切ななか
- ② クリエイティビティと創造的破壊
 - ③ 五つの組み合わせのイノベーション
 - ④ イノベーションの三つの本質
 - 二、アイスパレック/チームビルディング「クリエイティビティの阻害要因と突破法」
 - ① クリエイティビティを阻害する暗黙のルール
 - ② クリエイティビティを発揮するに

平成二六年度第二回トップセミナー

『経営トップの目線で取り組むコスト削減』所管部署任せではなく全社最適の視点を入れたコスト削減の重要性』と題して 株ビジネスパートナーズ 代表取締役 石井 純夫氏が講演

- は
- ③ 演習
 - 三、ケーススタディ・セッション「イノベーションの事例研究」
 - ① ケーススタディ(イノベーション事例)
 - ② デイスカッション
 - ③ 発表



研修風景

「ローコスト経営」というキーワードは、企業のコスト競争力、収益創出力を考える上で極めて重要な意味を持つっており、経営トップの皆さまが常に意識されている経営課題です。

しかしながら、売上確保のための営業活動に比べて、コスト削減の取り組みへの優先順位は決して高くないのが実情です。

こうした現状を踏まえ、平成二六年度第二回トップセミナーは、六月



講演する石井純夫氏

平成二六年度第三回トップセミナー

『アップル、そしてステイブ・ジョブズの経営に学ぶ』と題し ニッセイ基礎研究所 上席研究員 百嶋徹氏が講演 第三回埼玉クイズ王決定戦の概要についての説明も行われる



コスト削減への関心の高さから60名を超える参加者があった

十一日(水)十四時よりソニックシティイビル四階市民ホールにおいて、コスト削減サービスで多くのクライアントから信頼を得ている、(株)ビジネスパートナーズ代表取締役 石井 純夫氏を講師としてお迎えし、『経営トップの目線で取り組むコスト削減』所管部署任せではなく全社最適の視点を入れたコスト削減の重要性』と題して開催し、六一名が参加した。

米アップルは、二〇〇一年の携帯音楽プレーヤー「iPod」を皮切りに、スマートフォン「iPhone」、タブレット「iPad」など、人々のライフスタイルを豊かにする画期的な製品・サービスを相次いで開発・販売し、それらの大ヒットに

より世界を代表するハイテク企業に躍進しました。

しかし、アップルも順風満帆でこまできたわけではありません。九〇年代後半にパソコンのOSを巡る競争で米マイクロソフトの「Windows」に敗れ、パソコンの市場



講演する百嶋徹氏



講演ではアップルの詳細な財務分析結果の説明も行われた



第3回埼玉クイズ王決定戦の概要について説明する今成真昭氏



第2回埼玉クイズ王決定戦についてDVDにより紹介が行われた

シエラを低下させ経営危機に陥り、経営方針を巡る対立などにより八五年に同社を去った創業者のステイブ・ジョブズ氏が九七年に暫定CEOに復帰しました。

アップルが経営危機を脱し、その後躍進できたことについては、ジョブズ氏がカリスマ性を持った時代を先取りするビジョナリーとして果たした役割を抜きには語れませんが、

平成二六年度第二回特別セミナー

『ビジネスコーチング実践法』

「アドバンスコースで学ぶ」「二」を開催

四月三日(水)、一三時三〇分より

ソニックシティビル四階市民ホール

経済性を犠牲にせず、製品企画開発における創造性を組織的に徹底追及するアップルのものづくり経営の本質にも特筆すべきものがあります。

こうした観点から、平成二六年度第三回トップセミナーは六月十六日(月)十四時よりソニックシティビル四階市民ホールにおいて、企業経営、産業競争力等が専門分野で、ま

において、二六年度第二回特別セミナーが『経営に成果をもたらす真のリーダーを目指す』ビジネスコーチング実践法「アドバンスコースで学ぶ」「二」と題して開催され、二八名が参加した。

今回は、四月八日(火)に開催された『ビジネスコーチング実践法』アドバンスコースで学ぶ「一」の続編として開催され、講師は引続きビジネスコーチ(株)パートナービジネスコーチでBCS認定プロフェッショナルビジネスコーチである加地照子氏に務めていただき、以下のプログラムで開催した。

□プログラム

- 一、女性と男性の違いを認める「リン・イン」を活かす
- ①女性と男性の違いを認めつつ個を尊重する
- ②初期行動における違いは
- ③四つの行動スタイル(理論派、現実派、友好派、社交派)の特徴
- ④自己行動を知るチェックシート
- ⑤上司との対応で留意すべきこと
- 二、上手に叱る「承認力」を強化する



講演する加地照子氏

- ④「承認」には二つの種類がある
- ⑤「褒める」と「叱る」のバランス
- ⑥リーダーシップと叱るは同位
- ⑦怒ると叱るは一方通行と双方方向の違い
- ⑧「褒める」と「叱る」にはどんな相関があるか
- ・「褒める」は「よいところを見て、心に留め伝えること」
- ・「叱る」は「然るべきビジョンを勇気を持って伝えること」
- ・「褒める」と「叱る」はアクセルとブレークの役割でどちらも大切
- ⑨叱るは未来に向けた助言です
- ⑩叱るときの流れ
- ・過去の事実を冷静に伝える
- ・現在の率直な気持ちを伝える
- ・未来の行動変革に向けて質問・助言する
- ・未来の進捗を確認する
- ⑪叱る五ヶ条
- ・建設的に叱る(責めても人は変わらない)
- ・限定的に叱る(今回に限定し過去を蒸し返さない)
- ・印象的に叱る(短く、心に残るフレーズで)
- ・個別の尺度で叱る(他人と比較しない)
- ・相手の成長のために叱る
- ⑫褒める5ヶ条
- ・事実を褒める
- ・タイミング良く褒める
- ・相手がうれしいツボを褒める
- ・あんばいよく褒める
- ・心をこめて褒める

三、事例研究



研修風景

本年度新設の第一回介護ビジネス研究会

1120名超える参加者を得て開催



介護ビジネスへの関心の高さから120名を超える参加者があった

後期高齢者並びに認知症患者の増加等により、今後、介護サービス市場は急速に拡大するものと予想されます。



友住弘一郎氏



大津洋子氏



高橋行憲氏

こうした市場の成長性から、介護ビジネス業界には他の業態・業種から多くの企業が参入しており、これから企業との連携による新サービス展開の可能性が高まるとともに、今後急速に高齢化が進展するアジアでのビジネス拡大、介護施設を対象としたR E I T 上場など、ビジネスチャンスも大きく広がっています。しかし、一方では、介護給付費抑制の観点からの保険外サービスの開拓、慢性的な人材不足への対応など、介護ビジネス業界の課題も山積しています。

こうした状況を踏まえ、介護サービス事業者並びに今後介護サービス事業への参入を研究・検討されている事業者を中心として、今後の事業展開に関する情報交換の場として、

平成二六年度第一回人事労務委員会

『定年後再雇用における人事処遇制度設計実務セミナー』希望者全員雇用時代の再雇用制度見直しの方向とは』と題して経団連事業サービス・人事賃金センターの吉田純一シニアフェローが講演

少子高齢化が急速に進行し、若年労働者が減少していく中、企業としていかに高齢者を雇用し活用していくかが今後の大きな課題の一つとなっております。こうした中、継続雇

「介護ビジネス研究会」を新設し、その第一回を四月十七日(木)九時三〇分よりソニックシティビル四階市民ホールで開催され、一二三名が参加し、介護ビジネスへの関心の高さが窺われました。

当日のプログラムは、まず本会の根岸茂文専務理事より介護ビジネス研究会の概要について説明が行われ、続いて埼玉労働局労働基準部監督課長友住弘一郎氏より「介護事業者の労務管理上の留意事項」について、雇用均等室地方育児・介護休業指導官大津洋子氏より「男女雇用機会均等法で禁止している「間接差別」の対象範囲拡大」についてそれぞれ説明が行われた。

その後、(株)ウイズネット代表取締役社長高橋行憲氏より、「介護事業の現状と展望」新規参入のポイント」と題する講演が行われ、第一回介護ビジネス研究会は盛会裏に終了した。

しかしながら現在の企業の再雇用制度は、年金支給を前提とした処遇制度設計となっていた企業が多く、職務内容と関わりなく処遇が決定する仕組みとなっているケースがほとんどであり、再雇用者にとって納得性の高いものとはいえず、高齢者を活用できている状況とは言えません。

今後六〇歳代前半層の雇用が拡大する中、会社全体の人件費管理を踏まえつつ、いかに再雇用者の処遇制度を公平かつ納得性の高い制度に見直していくかは、企業にとっての喫緊の課題であると言えます。

こうした観点から、平成二六年度第一回人事労務委員会は、四月十七日(木)十四時よりソニックシティビル四階市民ホールにおいて、経団連事業サービス・人事賃金センターの吉



吉田純一氏



講演風景

平成二六年度第二回・第三回人事労務委員会

『働きがいのある会社の作り方』〈基礎編〉・〈実践編〉として

2回シリーズで開催

世界的規模で実施されるG P T W (Great Place to Work®)の「働きがいのある会社」調査(本会会員のケイアイスター不動産(株)と川木建設(株)の二社が二〇一四年日本版ランキングに入賞)。今回は日本では過去最多の企業が参加するなど、「働きがい」への関心が高まっています。

なぜ、働きがいのある会社を目指すのでしょうか?それは、経営者にとって「事業目標を達成する」ために、一見遠回りのようであるが、実は「近道」であるからに他なりません。従業員が「働きがい」を感じ活性化している職場では、健全な企業文化



GPTW トレーナー
福田浩司氏

が土台となり、従業員の自発的かつ生産的な活動が日常的に行われているのです。

こうした働きがいのある会社づくりのためには、職場での信頼関係をベースとした「働きがいのある」組織づくりを担うトップ、リーダーを養成することが不可欠であります。

こうした観点から、GPTWが二〇年以上かけた研究から編み出した「働きがいのある職場」づくりに必要なコミュニケーション手法を習得する「働きがいのある会社づくり方」(基礎編)を五月二六日(月)に、(実践編)を六月九日(月)に、ソニックス

ティビル四階市民ホールにおいて、第二回・第三回人事労務委員会として開催し、それぞれ三二名、二六名が参加した。
講師は、「(基礎編)・(実践編)」ともに、GPTW トレーナーで、米国CCE, Inc. 認定 GCDI, Japan キャリアカウンセラーの福田浩司氏に務めていただき、以下のプログラムで研修を行った。

【第二回人事労務委員会「働きがいのある会社づくり方」(基礎編) プログラム

- ◆働きがいのある職場とは
- ・理想の職場を考える
- ・「働きがいのある職場」モデルを理解する
- ・働きがいのある職場―強みとしての企業文化
- ◆「働きがいのある職場」における信頼の作用
- ・信頼が職場にもたらす作用とは

・「働きがいのある職場」づくりのメリットを考える

◆「働きがいのある職場」における信頼を高めるやりとり

- ・信頼が高まる職場でのやりとりを考える
- ・信頼が高まったやりとりの自身の体験を振り返る
- ・職場実践に向けての意見交換
- 【第三回人事労務委員会「働きがいのある会社づくり方」(実践編) プログラム
- ◆働きがいのある職場とは
- ・「働きがいのある職場」の特徴を考える
- ・「働きがいのある職場づくり」のメリットを共有する
- ◆「働きがいのある職場」における信頼を高めるやりとりのポイントを理解する
- ・信頼が高まる職場でのやりとりの特徴
- ・自分が信頼を高めたやりとりを振り返る
- ◆「働きがいのある」職場における信頼を高めるやりとりの実践的なステップを習得する
- ・ステップ一「認識する」…従業員それぞれの違いを認め、各自が持つ潜在、顕在の能力をできるだけ多く見つけるためのフレームワークを理解する
- ・ステップ二「選択する」…信頼関係を築くために、様々な機会を捉えて計画的に実践するための職場の場面を設定する
- ・ステップ三「構想する」…素

本年度新設の第一回農業ビジネス研究会 開催！活発な意見交換が行われた

晴らしい事例、仕組み、施策を新たに構想していくためのキーポイントを習得する
・ステップ四「演出する」…効果的

に信頼を高めるためのやりとり実践するポイントを押さえる
◆職場でのアクションプランを設計し、共有する



新藤光明氏



篠崎豊氏

世界の食市場は、アジアを中心に、今後一〇年間で三四〇兆円から六八〇兆円に倍増すると見込まれます。こうした成長市場を取り込み、「強い農林水産業」と「美しく活力ある農山漁村」を創るため、政府は「農林水産業・地域の活力創造本部」を設置し、昨年十二月に我が国農林水産業・地域の活力創造に向けて政策改革のグランドデザインとして「農林水産業・地域の活力創造プラン」を取りまとめています。
このプランを実現するためには、

活発な質疑応答・意見交換が行われた



既に取り組み始めている農商連携や医福食農連携等の六次産業化に加え、異業種連携による他業種に蓄積された技術・知見の活用、ICTの活用、生産・流通システムの高度化などが不可欠であり、このプラン実現の過程で様々な業種の企業にとって大きなビジネスチャンスが生まれるものと想定されます。
こうした認識に基づき、関東農政局、埼玉県農林部等との連携を図りつつ、将来的に農業ビジネス参入を検討・研究中の企業に対し、



研修風景 (第2回)



研修風景 (第3回)



情報並びに情報交換も行われた

日(木)十四日より、ソニックシティ四階市民ホールにおいて、第一回委員会が開催され、三四名が参加した。委員会は、事務局報告の後、講演

情報並びに情報交換も行われた。一として、「農林水産業・地域の活力創造プランの概要並びに平成二六年度農林水産関係予算の主要事項」をテーマに、関東農政局企画調整室調整官新藤光明氏より講演が行われた。続いて講演二として、「埼玉県の農業ビジネス支援策の概要」について、埼玉県農林部農業政策課長篠崎豊氏より講演が行われ、その後活発な質疑応答、意見交換が行われ、農業ビジネスへの関心の高さが窺われた。

平成二六年度第一回グローバル委員会 (第七回埼玉アジアフォーラム)

『市場・投資先としての魅力溢れる可能性 の宝庫 インドネシア』をテーマに開催

平成二六年度第一回グローバル委員会は、六月二〇日(金)一三時三〇分より、さいたま市商工会議所会館において、埼玉県との共催(第七回埼玉アジアフォーラム)で「市場・投資先としての魅力溢れる可能性の宝庫 インドネシア」をテーマに開催され、一五〇名が参加した。



主催者挨拶をする
上田清司埼玉県知事



基調講演をするユスロ
ン・イザ・マヘンドラ
駐日インドネシア特命
全権大使



講演する富吉賢一
ジェトロ
ジャカルタ
事務所長



地域社会問題委員会

年度第一回地域社会問題委員会は、六月三〇日(月)十四時よりソニックシティビル四階市民ホールにおいて、埼玉県

理、新村亮(株)ナガワ本社企画室部長兼海外支援室長により活発なディスカッションが行われ、盛會裏に終了した。



パネルディスカッション

平成二六年度第一回地域社会問題委員会

『人口減少(少子・高齢化)の埼玉県を 考える』と題して埼玉りそな産業経済 振興財団主席研究員萩原淳司氏が講演

国立社会保障人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」によると、埼玉県の人口は、二〇一五年以降減少局面に入り、少子・高齢化による人口減少の本格化に伴い、二〇四〇年には、六三〇万人と現在に比べ約九〇万人も減少すると予測されており、地域経済、企業経営にとって大きな影響が出てくるものと想定されます。

内の経済・産業動向、企業経営及び

平成二六年度『埼玉県産業労働部 主要施策説明会』開催

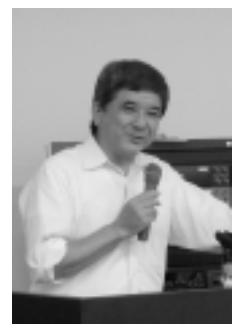
テーマに説明が行われた。



加藤和男氏



渡辺充氏



講演する萩原淳司氏

地域の活性化に関する調査研究に取り組んでいる、公益財団法人埼玉りそな産業経済振興財団 主席研究員萩原淳司氏を講師としてお迎えし、「人口減少(少子・高齢化)の埼玉県を考える」と題して開催され、二五名が参加した。萩原氏からは市町村別の将来人口動向、高齢者の人口移動、社会資本の劣化など、大変興味深い研究成果の報告があり、その後活発な質問も出された。

「青年経営者部会」

今期初の例会開催

青年経営者部会の今期初の四月例会が四月二十五日(金)午後、浦和ロイヤルパインズホテルにおいて二十三名が参加し、(株)イマージョン 代表取締役社長 藤井正隆氏の「あなたの会社が、感動企業に生まれ変わる8つの取組み」と題した講演と懇親会の二部構成により開催された。

部会長の立案により行われた。開会で川本武彦部会長(サイサン・社長)は、今回は特に、皆様から大いに質問等を出していただき、討論をしていただくために、あえて、会場をロの字に設営した旨の説明が行なわれた。

講師の藤井氏のプロフィールは「日本でいちばん大切にしたい会社」の著者で知られる法政大学の坂本光司教授を慕い弟子入り、一緒に取材に同行した企業の、高い理念を具現化する社会貢献と、業績を両立した好循環のしくみの素晴らしさに驚嘆、以来「優良企業を訪問することが趣味」になり、企業研究と取材を重ねる一方、執筆・企業研修・チーム開発と組織開発のコンサルティングを行なっている。主な著書は、「感動する会社は、なぜ、すべてがうまく回っているのか」、「びよんびよんウサギとこのろろカメの経営法則」等。

講演では、どんなに厳しい時代でも、どんなに衰退しつつある業界でも、確実に成長を続けている企業がある。しかも、従業員はやる気満々、お客様はニコニコ、地域や社会に付加価値までもたらしている。その秘密は「好循環」を作ること。ポイントには三つあり、一、従業員を大切にすること。二、顧客価値を高めること。三、地域貢献をすることと話された。

第一部は矢部利人副部会長(丸和工業・社長)の司会・進行で執り行われた。なお、本日の企画も矢部副部会長の立案により行われた。

第二部の懇親会は、栗原志功会計監事(もしもん・社長)の司会・進行で執り行われ、藤田義治特別会員(埼京運輸・社長)により、乾杯と挨拶が行われた。

最後に、三原宏治幹事(日本自動車管理・社長)による挨拶・中締めが行われ、四月例会は盛会裏のうちにお開きとなった。

「青年経営者部会総会開催」

青年経営者部会の平成二十六年定期総会が五月二十三日(金)午後、浦和ロイヤルパインズホテルで、ご来賓に藤田義治埼玉県経営者協会副会長を迎え二十二名が参加して開催された。

総会は川本武彦部会長(株)サイサン・社長が議長となり、平成二十五年事業報告、同決算報告、続いて平成二十六年事業計画案、同事業予算案が提案され、それぞれ原案通り承認された。

この後、任期満了に伴う役員改選案が提案され、原案通り別表の役員が新役員として選任された。

挨拶に立った藤田一誠新部会長(株)デサン・社長は、「引き続き厳しい経営環境の中はあるが、常に高い目標を掲げ前進する会にしたい。また、組織拡大に力を注ぎ、会員増強を図り、企業経営に役立つ例会や勉強会を引き続き一回企画するなど、魅力ある部会にしていきたい。そして、今年十一月十三・十四日の全国大会埼玉開催に向け盤石の体制を固めるべく邁進したい」と抱負を述べられた。最後に、「埼玉での全国大会を成功させるためにも、積極的に大勢参加していただきたい」と各部

員に要請を行なった。総会終了後の特別講演では、「社長の声のチカラで会社は変わる」と題し、(株)ボイスクリエーションシユルクの代表取締役社長である佐藤恵氏の講演が行なわれた。

その豊富な実践、技術的に裏打ちされた話は、今後の経営や、教育、商談等々大変参考となるものであった。

引き続き開催された懇親パーティーの部では、藤田親会副会長から部会長を始め新役員への依囑状の授与とご祝辞をいただいた。

藤田親会副会長は「青年経営者部会の活動は多くの若手経営者の手本にもなっており、多くの会員を集め、大いに活性化していただきたい。そして、今後とも、親会と一致団結し、県産業界の発展に貢献する活動を展開して欲しい」と挨拶された。その後、十三年前に埼玉で全国大会を開

催した藤田義治第七代部会長(埼京運輸(株)・社長)の音頭で乾杯が行われ、藤田新部会長を囲みながら、本来の目的である会員相互の啓発、情報交換が一層深められた。

最後に、今回の埼玉での全国大会を誘致した古川元一第十代部会長(川口土木建築工業(株)・社長)の閉会挨拶で懇親会はお開きとなった。



藤田一誠新部会長(左)と川本武彦前部会長(右)

講演する藤井正隆氏



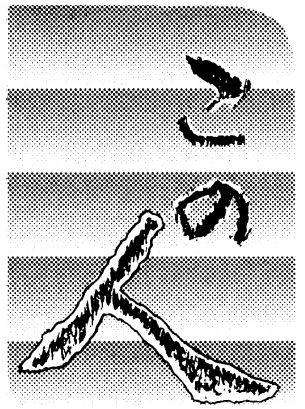
講演風景



講演する佐藤 恵氏



部会 役職名	氏 名	2014/4/1 の年齢
部 会 長	藤池 一誠 (株)デサン 代表取締役社長	44
副部会長	矢部 利人 丸和工業(株) 代表取締役社長	46
副部会長	眞子 岳志 (株)真工社 代表取締役社長	40
副部会長	内藤 岳 内藤環境管理(株) 常務取締役	38
副部会長	栗原 志功 もしもん(株) 代表取締役社長	42
幹 事	増田 学 友栄塗装(株) 代表取締役社長	50
幹 事	櫛嶋 英司 (南)シーエスサービス 代表取締役社長	48
幹 事	坂本 哲朗 カツミテクノ(株) 専務取締役	45
幹 事	臼田 和弘 (株)臼田 代表取締役社長	41
幹 事	大野 哲也 大野建設(株) 取締役	36
幹 事	堤 繁 (株)埼玉富士 代表取締役社長	47
幹 事	桑原 崇 サイエンス(株) 専務取締役	42
幹 事	三原 宏治 日本自動車管理(株) 代表取締役社長	50
会計監事	水村真太郎 (株)かにや 専務取締役	34
会計監事	望月 諭 望月印刷 代表取締役社長	30
顧 問	川本 武彦 (株)サイサン 代表取締役社長	49



株マスタック 代表取締役社長 増田文治氏



この人の生き方、考え方は現職への運命を感じる。

増田文治社長の父はマスタック名誉会長で前身の新日本機械工業を創立した増田文彦氏。文治社長は二代目となる。

文治社長は増田家の次男として東京・新宿区に生まれ、実母は一歳の時に死別。実母の記憶は全く無いという。その後は兄と二人、義母により育てられた。

子どもの頃は、大人しくて良い子という評判だった。「幼心に相手はどう接すれば喜ぶかを考えるような要領の良い子どもだった」と振り返る。

小学校は私立武蔵野学園、中学は東京学芸大付属小金井中学校、高校は東京学芸大付属高校と、まさに超エリート校に進学した。大学は理工系を目指し東京工業大学と埼玉大学を受験、東工大には合格せず、埼玉大学理学部機械工学科に入学。理工系を目指した理由は家業との関連はなく、単純に文系の国語



株式会社マスタック

代表取締役社長 増田文治氏

や歴史が苦手だったから。

大学時代はスキー部に在籍、合宿を含めスキー場で年間九〇日くらいは過ごした。

スキー部では入部二年目からキャプテンを任される。「皆をまとめるのが好きな性分で、頼りにされる部分もあったので、自然にキャプテンに就任していた」。大学四年間で人の接し方が漠然とだが身につき、相手の立場になって考えることの大切さも学ぶ。この時代の経験が現在の社長の生き方に通じるところとなる。

「父は、発明・開発家の学者的な部分、そして事業家という両面を持っていて、兄はその学者の部分、自分は事業家のDNAを継いだのではないかと」とあらためて分析した。兄は、早稲田大学応用物理学を卒業し、現在は名古屋大学大学院で物理学の教授に就いている。学者になりたかった兄と、大学卒業の頃には何となく家業を継ぎ経営者になるのではないかと想像している自分がいた。

「大卒後、不二家に就職したのも特に菓子業界志望では無かったが、無意識に将来は家業を継ぐと考えていたのかも知れない」と、これにも運命を感じるという。「不二家では、若輩ながらも技術屋として純粋に当社を変革したいと考え、一生懸命、必死に働き、周りからの信頼も得た」。この当時、父親は次男の文治氏に家業を継がせると決心しており、その意を受けて不二家を退職、そして二六歳の時、新日本機械工業（現マスタック）に入

社した。さらに父は将来の海外展開も視野に入れており、入社したばかりの息子に海外留学を勧める。さっそく渡米しパンの研究所

American Institute of Baking などで八ヶ月間パンや菓子製造の実習を経験する。苦手な英語も必死に勉強し、毎日、実習記録を克明に記した日誌を会社に送信した。当時一緒に実習した仲間、大手製粉メーカーや製パンメーカーの役員となり、現在でも親交している。帰国してからは、海外営業部をつくるためのプロジェクトを立ち上げ、家業を継ぐための経営哲学を学びながら必死に走り続けた。

当社取締役、副社長などを歴任し、四五歳の時にマスタック二代目社長に就任した。就任当時は、バブル崩壊後で売上が急激に下降した時期。社内改革や変化を余儀なくされた時期でもあった。

増田社長は、当社が常にベースに置いていた「安全・安心」をキーワードにしなが合理性を追求。より効率的でかつ発展的な業務改革を実行した。様々な改革の効果もあり、現在の売上高は就任当時の約三倍の水準にまで拡大している。

社長はこれからの思いについてこう語った。「菓子製造に関わる会社のトップになってつくづく感じるのは、『菓子は人を幸せにする』ということ。菓子は人の心を救い、喜びを与え、さらに幸せを与える。色々な人と出会い、色々な国の人と接するうちに菓子の魅力であらためて強く感じるようになった。そして、

「世界中の人たちに菓子を食べて幸せになってほしい。現地の実態を知り、現地の人々が喜ぶものをつくりお届けしたい」と目を輝かせた。

「たまたま家業が菓子に関わりの深い企業で、その経営者となり『菓子製造』という業界でフードセーフティの先頭を走る立場となり、一層菓子の持つ魅力がわかってきた。進学、留学、就職と何となく家業と関係ある道に進んだのも運命。自分の歩んできた道には運命を感じる」と振り返った。

家族は妻とアメリカ留学中の息子。趣味はゴルフと料理をつくること。料理は時間があれば必ずつくるようにし、ストレスの解消にもなっているという。得意料理は中華、イタリアン、和食など幅広く、妻や従業員に振る舞い、その評価を聞くのも楽しみのひとつ。

〔略歴〕

- 一九五四年六月二三日生まれ
- 東京都新宿区出身
- 一九七七年三月 埼玉大学理工学部機械工学科卒業
- 一九七七年四月 (株)不二家 入社
- 一九八一年三月 新日本機械工業(株)(現株マスタック)入社
- 一九八一年五月 海外留学(一九八二年一月)
- 一九八九年六月 当社 取締役
- 一九九一年六月 当社 専務取締役
- 一九九七年六月 当社 代表取締役副社長
- 一九九九年六月 (株)マスタック 代表取締役社長 就任(現職)

〔公職等〕

- ・日本製パン製菓機械工業会 理事長
- ・日本食品機械工業会 理事
- ・日本包装機械工業会 理事
- ・埼玉産業人クラブ 会長
- ・埼玉県経営者協会 副会長

お菓子とともにある幸せな時間 と幸せな人生を、世界中の人々へ

株式会社
マスダック

当社は、現名誉会長である増

田文彦が1957年（昭和32）

3月、新日本機械工業株式会社

（旧社名・2007年1月に現

社名へ変更）として創立しまし

た。創立以来、製パン製菓機械

メーカーとして様々な機械設備

を開発・製造しております。と

くに和洋菓子の分野において、

生産システムや製法を次々と開

発し、50余年にわたり菓子業界

の発展に大きく貢献して参りま

した。

現在当社は、「そのお菓子づ

くりを、もっと美味しく、新し

く」をコーポレートスローガン

に掲げ、機械事業と食品事業を

展開しています。

機械事業では、最初に菓子

ありきの基本姿勢のもと、お

客様が目指すお菓子づくりを、

安全・安心で美味しく、さらに

適正コストで安定生産できるこ

と、この実現を使命としていま

す。そのため設備を設計・製

作し、導入いただいたお客様へ

菓子技術のサポートやご提案、

アフターサービスを責任もって

行っています。

食品事業では、当社独自の菓

子生産技術（機械設備・菓子製

法）を必要とするお菓子づくりに

特化したOEMを行っています。

販売者様を通じて安全・安心

で美味しいお菓子をお届けし、

多くの消費者に喜んでいただく

ため、万全な生産環境を整えた

食品工場で生産を行っています。

この食品工場の運営ノウハウ

（建設・設備・運営）は菓子業

界の皆様へ提供し、お役立てい

ただいています。

機械事業によって培われた菓

子生産技術を活かし、食品事業

で喜ばれる菓子生産を行う。食

品事業部で蓄積された現場の声

を機械事業部へフィードバック

し、さらに安全で衛生的な菓子

生産ができる設備への改善に活

かす。このように、ふたつの事

業の連携により、全社で「世界

中の人々が、お菓子とともに幸

せな時間と幸せな人生を歩ん

でいただくこと」を目指してい

ます。

近年は海外展開にも力を入れ

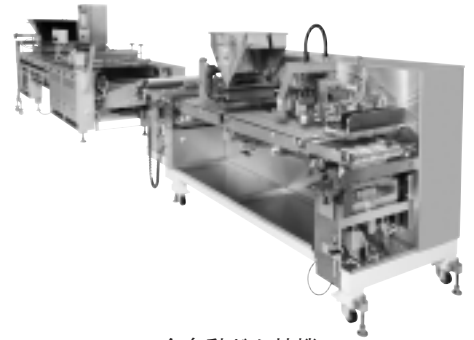
ています。2002年にパリ（フ

ランス）で開催されたユーロパ

ンへの「全自動どら焼機」（欧



展示会風景の写真
2002年ユーロパン（パリ）会
場で、サンドイッチパンケーキを
実演



全自動どら焼機

米向けの製品名：Sandwich Pan-
cake Machine）出品をきっかけ
にアムステルダム（オランダ）

に販売拠点を設け、世界各地の

マーケティング活動と業界展示

会への出展を積極的に試みまし

た。その結果、この12年で欧州・

ロシア・北南米・中東・アフリ

カと世界中のベーカーリー企業へ

当社の生産設備を導入いただき、

新たな市場展開ができました。

また、本社（日本）の技術や営

業スタッフには外国籍社員を迎

えて組織体制を整え、アジア地

域の展開にも注力しています。

どら焼機の海外市場進出の取

り組みについて、国際性・占有

力・収益性・戦略性の4つの項

目が総合的に評価され、本年3

月に経済産業省より「グローバル

ルニッチトップ企業100選」

に選定されました。

More For You

もっと、街・暮らし・笑顔のために



武蔵野銀行

銀行の常識を変えよう。



RESONA

埼玉りそな銀行



<http://www.resona-gr.co.jp/saitamaresona/>

北部 ウム・ヴェルト(株)

「廃棄物処理業からの脱皮」

平成四年、ビン・缶のリサイクル業として創業し、産業廃棄物全般に業務を拡大するため平成十年に設立したウム・ヴェルト(株)は、設立から十五年で、主な取引先約三、六〇〇社、主なりサイクル先は約三〇〇社と、著しい成長を遂げた。

小柳社長は、「業界の常識にとらわれず、お客様の要望に真摯にかつ真剣に取り組んできた成果だと感じる」と自負した。そして、「これから若手社員を中心に新しい発想で様々なアイデアを創造、実現しながらチャレンジしていきたい」と力強く語る。

また、計量装置付車両により従来不透明だった回収廃棄物の重量をきっちり計量し、お客様も確認したうえで請求する「その場で計量! あんしんECO便」の導入。

さらに、「廃棄物買取・jp」というホームページを開発・告知しながら、従来廃棄処分費がかかっていたペットボトル、空き缶、ダンボール

一斗缶、廃油、食品くずなど、再生可能な産業廃棄物を買収するシステム。利用したお客様からは三〇%以上のコスト削減につながったと喜ばれている。

そして、当社売上の五〇%以上を占める食品くず回収事業を利用し、これから本格的に参入していきたい事業が農業部門。食品リサイクルループ完成のため、今年から農業法人を立ち上げ、回収した食品くずなどからつくる肥料や飼料の内製化を計画し、じやがいもなどの栽培に着手している。現在収穫した農作物を社員や顧客に配布し、評価を聞いているがその結果をもとに今後改良を重ね販売まで実現したいと考えている。

社長は「若手社員がさらにチャレンジしやすい体制づくり。子育て中の女性の就労に優しい環境づくり。そして、業界の常識を覆す様々な展示会への出展などで当社事業のビジネスとしての可能性を探りたい」と笑みをうかべた。

中部 (株)プラコー

「技術力と開発力により、新たな未来を拓く」

川口市の工場で合成樹脂押出機およびプロロー成形成機の生産を本格化した(株)プラコー。事業の拡大に伴い昭和四五年に工場を岩槻区に建設、その後、昭和六三年に本店も現在の所在地に移転。サッカー観戦の歓声が届くほど至近に埼玉スタジアム二〇二〇がある。

高価な原料樹脂を無駄なく成形するための独自ノウハウは大企業も一目おいていて、同社は、ますます多様化・高度化するお客様のニーズに対応するためお客様とともに開発する姿勢で技術革新に邁進しており、今年新製品として発表した「高機能・高吐出多層インフレーション成形成機」は、ユーロ並みの生産量と日本オリエティを高い次元で両立させ、さらに消費電力を削減する省エネ成形成機として業界の注目を浴びている。

また、トヨタ自動車(株)の系列である(株)FTSと共同開発した樹脂タンク用小型プロロー成形成機は、大幅なコンパクト

化とコスト低減の実現が認められ、昨年二月、トヨタ自動車(株)から技術開発賞を受賞した。

社長は、「社員や株主、取引先など会社と関連する人々に満足していただけるような安定経営を目指したい。そのためには他社にできない技術力・開発力を生かし、生産性や価格などの価格競争が厳しい海外のシェアも増やしていきたい」と自信をのぞかせ、「新たな未来を拓くためには、ベテラン社員の技術を伝承させながら社員の若返りやレベルアップ教育が必須」と人材育成の必要性も強調した。

ウム・ヴェルト(株) 小柳明雄社長



食品リサイクルをイメージした運搬車



DATA	
会社名	ウム・ヴェルト(株)
所在地	加須市栄368番地1
電話	0280-23-2641
FAX	0280-62-2971
URL	http://www.um-welto.co.jp/
設立	平成4年9月
創設	平成10年3月
代表者	代表取締役 小柳明雄
資本金	1,000万円
従業員数	180名(グループ計)
事業内容	産業廃棄物処理、産業廃棄物リサイクル、蛍光管及び廃棄物関連商品の販売等
グループ会社	(株)ウム・ヴェルト・ジャパン(寄居本社工場、久喜工場、長野営業所) アインズ株式会社、アグリファーム株式会社
事業所	板倉リサイクルセンター、久喜リサイクルセンター、営業所(多摩、杉戸、北関東)

(株)プラコー 権田和陸社長



5種6層燃料タンク用プロロー成形成機



DATA	
会社名	(株)プラコー
所在地	さいたま市岩槻区笹久保新田550
電話	048-798-0222
FAX	048-798-0390
代表者	代表取締役社長 権田 和陸
設立	昭和35年8月
資本金	13億3294万円
従業員数	80名(平成26年6月現在)
事業内容	プラスチック成形成機、リサイクル装置製造販売

西部 有限会社共和エレック

「より良い環境と 安心をサポート」

有限会社共和エレックは、生活して行く上で必要な各種電気設備工事を行い、防犯・地デジ・LAN配線・照明機器・空調・太陽光発電・オール電化まで、顧客のニーズにお応えするため、プロの技術者が現地までお伺いし対応している。

その沿革は平成十二年、共和エレック創業。平成十三年有限会社共和エレックを設立し、公共事業入札を始めた若い企業である。

当社社長永島 明氏は、当社を起業する前は、電気工事を主に事業とする会社のサラリーマンであった。

しかし、そこでの急拡大路線や、他業種への進出に、疑義を感じ、路線変更を訴えるも聞き入れられず、退社の運び

永島 明社長



本社と営業車



となった。残念ながらその後、その会社は倒産したとのこと。そのこともあり、永島社長は、起業する際、経営理念や社訓をしっかりしたものにしていく。

当社の電気工事の実績は、地域では、地元の川越市にとどまらず、川口市、三鷹市、上尾市、所沢市、国分寺市、浦和市、立川市等々の広範囲に広がり、個人宅、共同住宅、小学校、マンション、テナント、レストラン、等々、こちらも広く多様である。

防犯設備設置では、防犯機器を設置するだけでなく、防犯機能を發揮するわけではないので、数々の強盗や侵入の手段を研究し、どこに何を設置するかというのを、理論的な

裏付けをし、プランニング施工を行なっている。そこが、大手警備会社との大きな違いでもある。

照明設置紹介は、環境への意識がより高まり、電力消費量削減のためLEDを利用した照明等も多くなってきた。しかし、実際には機器への規格の統一や対応可能箇所などの問題点も多い。そこで、現在の状況や今後の運用も見据えて、最適な商品を提案している。

空調換気は、オフィスビルや店舗や工場などの業務用空調設備は勿論のこと、集合住宅、一般住宅等のエアコン設備工事も対応している。また、電気代的大幅ダウンには、換気扇やダクトが重要なファクターとなり、さらに、メンテナンスも欠かせないことも提案している。

また、ラン設置業務、太陽光発電オール電化など、多くのことに対応している。

さらに、今後の長期計画として、従業員の福利厚生を包括しながら、介護ビジネスをも展開している。

DATA

会社名：有限会社 共和エレック
本社：川越市大字上寺山158-3
代表者：代表取締役 永島 明
設立：平成13年4月
資本金：1,000万円
従業員数：23名
事業内容：電気設備業・空調設備設計
施工・介護事業

南部 株式会社やまと石材

「墓石の販売から、墓地・ 霊園の開発・管理まで」

株式会社やまと石材に本件取材にお邪魔したところ、従業員全員起立して出迎えを受け、そして、応接室で、抹茶をご馳走になった。このようなことは、十数年取材を続けてきたが始めての体験であった。

これは、当社創業社長丹田益生氏が、昭和六十年創業以前にお茶の販売会社に勤めていたことと、人間力を高める社員教育によるものである。

丹田社長は、お茶の営業の他にも、会員権や、英会話の教材等々も行なっていた。勿論、成績は常にトップクラス、しかし、これらの販売・営業では、心に、何か「燃えるもの」がなかったとのこと。

ところが、ある日、ある石

丹田益生社長



川口光輪メモリアル



材店で営業を募集しており、この仕事に何かあるのではと感じ、入社した。そして、多くの顧客から、「たくさんのありがたうの感謝を受け」、「人の心の部分に入っていく仕事」であり「人生の最後の事業のお手伝いができる仕事」であると感じた。そして、自分の理念を実現したい、より良い仕事をしたいと、起業したとのこと。

当社は、「誠意・品質NO1」を原点に、墓石の販売・施工、霊園の開発・販売・管理のトータルサービス企業として、常に業界に先駆けたサービスを展開し、昭和六十一年以来一万余人以上のお墓建立し、業界標準の全優石、日本石材産業協会（正会員）に

加盟し、平成十四年には国土交通大臣許可建設業を取得している。

その沿革は、昭和六十年、やまと石材創業。六十一年、(株)やまと石材設立。そして、六十二年以降、その発展は目覚ましく、越谷、所沢、千葉、横浜、多摩、藤沢、各営業所を展開するに至っている。

DATA

会社名：株式会社 やまと石材
本社：越谷市南越谷1-20-1
代表者：代表取締役 丹田益生
創業：1985年（昭和60年）
資本金：5,000万円
従業員数：202名（グループ全体）
事業内容：墓石の販売・施工、霊園の開発・販売、管理

お墓とは、亡くなった人を祀るところ、ご先祖を供養するところ、等々、特別な意味をもつ大切な場所だと、考えられている。だからこそ、当社は、「顧客満足度NO1」をスローガンに「心」のこもった価値あるサービスを提供していきたいと、さらに、丹田社長は、顧客満足度を高めるには、社員満足度を高めなくてはならない。つまり、社員満足度があつて初めて、顧客満足度が生まれると考え、さらに、社員満足とは、仕事に対してやりがいを実感することと、分析されている。

そして、基本にたち返り、常に改革をしていきたいと話された。

埼玉大学研究者との出会いの広場

シリーズ
第88回

今回の内容について、ご関心・興味をお持ちの方は、下記にご連絡下さい。
 埼経協 専務理事 根岸 茂文、事務局次長 宮田 信久 ☎048-647-4100
 FAX048-641-0924

研究の内容

産業への展開



進化による有用タンパク質・ペプチド分子の創出—進化分子工学

埼玉大学大学院理工学研究科 物質科学部門 根本 直人 准教授

品種改良は人間に役立つ動物や植物を人為的に進化させ、味覚だけでなく耐寒性、耐虫性などその生産性を飛躍的に向上させ人類に大きく貢献してきました。埼玉大学には残念ながら農学部はありません。しかしながら、工学部では分子レベルでこの品種改良を従来の進化の数万倍のスピードで試験管内進化させ人間に役立つタンパク質やペプチドを取得する技術（進化分子工学）が研究されています。

進化を単純化して言えば、多くの子孫をつくりその中から環境または人間の都合に最も適合するものを選ぶプロセスとすることができます。このため子孫を多く作れば作れるほど、多様性のある子孫を作れば作れるほど有利になります。われわれの研究室では、植物や動物を用いずに人工的に試験管の中で進化をさせたい分子（DNAやタンパク質）のみを人工的に合成して増幅や変異を実現させ、1万年分の進化を数時間や数日でさせることを可能にしています。例えば、現在の世界人口（70億）の100倍程度のものの中から1週間で優れたものを選択するといった感じです。

このような技術は実は世界中でタンパク質工学の先端技術としても研究されています。身近なと

ころでは、家庭用洗剤には酵素が4種類程度入っていますが、これらは進化学の技術により低温でも洗うことが可能になり、洗剤のようなアルカリ条件下でも血液や汗の汚れが落とせるようになってきました。また、医療分野では分子標的医薬品として抗体医薬であるハーセプチン（乳がん）やアクテムラ（関節リュウマチ）が特効薬として有名です。

われわれの研究室では、アクテムラの標的とするインターロイキン6レセプターに対して抗体の40分の1という小さなペプチドでも同じような働きが可能になることを見出してきました。抗体より小さいだけで何がよいのでしょうか？コストも小さくなりますが、それ以上に熱安定性が高いことで診断チップなどナノテクノロジーとの組み合わせでより高機能な製品を生み出す可能性が期待されます。予防医療時代の緑の下の方力持ちになればと日夜努力しております。



固相上のアミノ基を認識するペプチドアダプターの2次構造予測（アミノ基のような小さな原子団を認識するペプチドを世界で初めて創出）

- ・次世代抗体のデザイン・創製
- ・様々な材料に結合するペプチドの開発
- ・ペプチドをベースとした人工酵素の開発
- ・リポソームやゲルとペプチドを組み合わせた機能性材料

学歴・略歴

根本 直人

（ねもと なおと）

埼玉大学理工学研究科博士後期課程修了後、三菱化学生命科学研究所、産業技術総合研究所、複数の企業等で一貫して進化分子工学を用いた機能性ペプチドを研究。2008年から埼玉大学理工学研究科准教授としてペプチドと様々な材料を組み合わせた新規の機能性材料の創製及びそれを用いたシステムの開発に取り組んでいる。



「精密立体制御」と「高活性」を同時達成するオレフィン重合触媒の開発

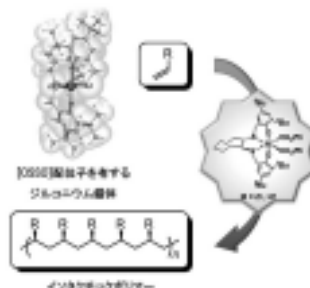
埼玉大学大学院理工学研究科 物質科学部門 中田 憲男 助教

ポリプロピレンなどに代表されるオレフィン系ポリマーは、優れた加工性や物性を有しており、自動車、家電製品、飲料用容器など私たちの生活に必要な存在であります。オレフィン系ポリマーは、ポリマーの主鎖から側鎖に対し枝のように出ている置換基の向きによりその物性や性質が大きく異なり、同じ方向に出る場合をイソタクチック、互い違いに出る場合をシンジオタクチック、ランダムに出る場合をアタクチックとそれぞれ呼ばれます。特にイソタクチックポリマーは、耐熱性や加工性に優れており、汎用性の高い高分子材料であることから、より高活性かつ立体規則性の制御を目指した重合プロセスの開発研究が古くから盛んに行われています。

最近我々は、酸素原子と硫黄原子をドナーとし、*trans*-シクロオクタンを縮環させた四座配位子（以下、[OSSO]配位子と記す）を設計・開発し、そのジルコニウム錯体ならびにハフニウム錯体が様々なオレフィンの重合反応に対して、これまでの配位重合触媒を凌ぐ高活性かつ完璧なイソタクチックポリマーを与える有用な触媒であることを見出しています。例えば、ジルコニウム錯体

は1-ヘキセンを1秒間に8.3回という超高速で重合する触媒として働きます。なお、この研究成果はアメリカ化学会誌の表紙として取りあげられ、国内だけでなく世界に対しても大きなインパクトを与えました。一方、ハフニウム錯体を触媒とした重合反応においても、4-メチル-1-ペンテンの重合反応から絶縁被膜や絶縁フィルムとして市場展開されているポリ（4-メチル-1-ペンテン）が従来の触媒よりも高分子量、高活性および完璧なイソ特異的に得られ、新しい絶縁被膜材料として応用が期待される成果を挙げています。

今後は、より実用化に向けた研究対象として、従来の触媒系では合成困難な機能性置換基を有するオレフィンの精密重合反応の構築に向けて、新たな[OSSO]配位子の設計・開発に取り組んでいます。



付加価値の高いポリオレフィンの製造

学歴・略歴

中田 憲男

（なかた のりお）

2003年京都大学大学院理工学研究科博士後期課程修了。博士（理学）。筑波大学大学院数理物質科学研究科准研究員を経て、2007年から現職。2011—2013年仏国ポール・サバチエ大学 CNRS 博士研究員。2014年理化学研究所客員研究員。専門は有機金属化学、有機元素化学

「ものづくり大学」へようこそ

連載
第64回

今回の内容について、ご関心・興味をお持ちの方は、下記にご連絡下さい。
埼経協 専務理事 根岸 茂文、事務局次長 宮田 信久 ☎048-647-4100
FAX 048-641-0924



コンクリート構造物の品質管理

建設学科 澤本 武博 准教授

莫大なインフラを抱える我が国では、コンクリート構造物の品質管理、劣化診断、そして長寿命化が求められています。

まずは、新設構造物への最新の強度管理技術です。現在、コンクリート構造物の強度管理は、一般的に管理用の小さいテストピースを用いています。実構造物の強度とは大きく掛け離れていることもあります。そのため、構造体コンクリートの強度管理として、構造体そのものからコアを採取する方法がありますが、これでは構造体に与えるダメージが大きくなります。そこで、日本非破壊検査協会では、構造体にあらかじめ凸をつけ、それを取り外して強度試験を行う BOSS 供試体 (Broken off Specimens by Splitting) を規格化し、近年橋梁工事などで使用されるようになりました。現在、JIS 化に向けて調整が行われており、さらに ISO に向けた BOSS 供試体の形状を研究しています。

次に、公共工事の品質確保の促進に関する法律が施行され、入札方式に総合評価落札方式が適用されるようになりました。そのため、入札価格に加えて技術力が評価されることから、コ

ンクリートの品質向上に関する研究や技術開発に取り組む必要があります。そこで、現在は表層コンクリートの品質に大きく影響を及ぼす養生方法を研究しており、また透気試験など表層コンクリートの品質を非破壊で評価する方法も検討しています。

最後に、橋梁の長寿命化が求められている今、ようやく市町村レベルまで橋梁の長寿命化修繕計画が策定されるようになりました。これまで、埼玉県内の市町村の計画策定のアドバイザーを行ってきました。今後は、さらに産官学の繋がりを強化したいと思っています。



Cube 型 BOSS 供試体



コンクリートの透気試験

澤本 武博 (さわもと たけひろ) 准教授、博士 (工学)、東京理科大学大学院理工学研究科土木工学専攻博士後期課程修了、若築建設、東京理科大助手を経て2005年5月からものづくり大学着任、日本コンクリート工学会、日本非破壊検査協会、土木学会所属 (連絡先: 048-564-3856 / sawamoto@iot.ac.jp)



重力発電装置制作顛末記

製造学科 平岡 尚文 教授

ものづくり大学では、4年生に卒業研究あるいは卒業制作を課しています。2013年度は本研究室で2名の学生が協力して表題の重力発電装置の制作を行いました。大仰な装置名ですが、おもりを持ち上げて、それが降りる力を利用して発電機を回して照明を点灯するという、単純な機械です。

原発事故以来、電気エネルギーの確保が社会的課題として重みを増していますが、小さな電球をわずかの間点すだけでも想像以上のエネルギーが必要なことを、わかりやすく訴える機械を作ろうというのが、そもそもの発端です。たとえば1トンのおもりを1m持ち上げて降ろしても、10Wの電球を十数分点すのがやっとです。百万ドルの夜景をつくるのに、さて何トンのおもりを何m持ち上げる必要があるのか、そう考えると背筋が寒くなります。

できあがったのは高さ1.7mの急斜面を滑車をつけた約90kgのおもりが滑り降りる際、2.4WのLED電球を10分間点す、はずの装置でした。

技術的ポイントは、いかに90kgのおもりを10分間かけて一定速度で降ろすかという点にありました。下手な定速化装置を使うと、その摩擦だけでエネルギーを消費してしまいます。用いた自転車用発電機の特長を利用して、適切に増速機を設計するこ

とで解決しました。全体の骨組みには木材を用い、増速機から発電機に至る部分を金属で作りました。

ところが試運転を始めた途端、メリメリと木製部分が壊れてしまいました。金属部分は慎重に強度計算したもの、木製部分はエイヤで作ってしまったのが原因です。それが発表日の2日前。増速機の増速比とおもりの重さを減らし、点灯時間を1分にスベックダウンしてなんとか体裁を整えました。

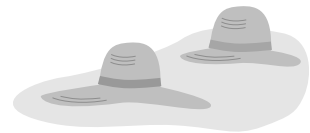
学生達が徹夜したのはいうまでもありません。感心なのは他のテーマの学生達も見かねて遅くまで手伝ってくれたことです。この得難い(?) 経験を糧として、よい技術者になってくれることを期待しています。



試験中の重力発電装置

平岡 尚文 (ひらおか なおふみ) 教授、京都大学大学院修了、博士 (工学)、特許5件、2003年からものづくり大学 日本機械学会、日本トライボロジー学会、砥粒加工学会所属。(連絡先: 048-564-3842 / hiraoka@iot.ac.jp)

平成26年



暑中お見舞いの申し上げます

紙上名刺交換会 到着順掲載

<p>代表取締役 会長</p> <p>株式会社 デサ ン</p> <p>後池津池</p>	<p>頭取</p> <p>株式会社 武蔵野銀行</p> <p>加藤喜久雄</p>	<p>社長</p> <p>株式会社 埼玉りそな銀行</p> <p>池田一義</p>	<p>相談役</p> <p>日本信号株式会社</p> <p>西村和義</p>	<p>代表取締役 会長</p> <p>武州ガス株式会社</p> <p>原宏</p>
<p>代表取締役 会長</p> <p>牛山電工株式会 社</p> <p>吉田弘</p>	<p>代表取締役 会長</p> <p>日本伸管株式会 社</p> <p>細沼哲夫</p>	<p>代表取締役 会長</p> <p>株式会社ピックスコーポレ ーション</p> <p>荻野芳朗</p>	<p>代表 取締役</p> <p>吉野電化工業株式会 社</p> <p>吉野寛治</p>	<p>代表取締役 社長</p> <p>株式会社サイニチホール ディングス</p> <p>橋本宏太郎</p>
<p>代表 取締役</p> <p>大野建設株式会 社</p> <p>大野年司</p>	<p>代表 取締役</p> <p>株式会社愛工舎製作所</p> <p>牛窪啓詞</p>	<p>代表取締役 社長</p> <p>埼玉機器株式会 社</p> <p>西海栄一</p>	<p>代表取締役 社長</p> <p>株式会社 丸善</p> <p>原啓康</p>	<p>代表取締役 社長</p> <p>埼玉トヨペット株式会 社</p> <p>平沼一幸</p>



紙上名刺交換会 到着順掲載

<p>代表取締役 三原 宏 治 日本自動車管理株式会社</p>	<p>代表取締役 松本伸一郎 株式会社 松本商会</p>	<p>代表取締役 齊之平伸一 三州製菓株式会社</p>	<p>代表取締役 玄間 敏 日本地工株式会社</p>	<p>代表取締役 川本武彦 株式会社サイサン</p>
<p>副代表 吉成 正樹 アイデックス社会保険労務士法人</p>	<p>代表取締役 塩浦綾子 関東自動車株式会社</p>	<p>代表取締役 川 雅人 新電元工業株式会社</p>	<p>理事長 沼尾 幸一 埼玉県中古自動車販売商工組合</p>	<p>取締役専務 執行役員 徳 洌 良孝 日本信号株式会社</p>
<p>社一般 法人 埼玉県経営者協会 専務理事 根岸 茂文 職員 一同</p>	<p>代表取締役 望月 諭 望月印刷株式会社</p>	<p>代表取締役 亀井寿之 亀井産業株式会社</p>	<p>代表取締役 高橋洋三 武州産業株式会社</p>	<p>取締役 坂戸ガス株式会社 原 宏</p>

平成二六年度 インターンシップ・ガイダンス・情報交換会を開催

本会が実施団体として推進して

いる「埼玉県大学生インターンシップ推進事業」のガイダンスと情報交換会を六月二四日(火)午後、ソニックシティビル九〇六会議室で開催し、受入側の企業・団体は二八先・三二名が参加、県内及び首都圏の大学関係者は三九大学・四八名、合計八〇名が参加した。

会は、清水健太郎埼玉県産業労働部産業人材育成課主幹が「本日の催しは、インターンシップの本格的な実施に先立って、大学関係者と受入先とが直接交流していただき、相互理解を深めていただくため毎年開催している。この機会に交流を深めていただきたい」と開会挨拶、続いて、宮田信久本会

インターンシップ事務局統括が、

平成二五年度の実績やアンケート結果、平成二六年度の受入先登録数・募集数・応募数等の進捗状況を説明。「毎年の傾向として、受入先登録していただいても、その中で約四〇％は学生が全く応募しない。行政や金融、大手企業など特定先への応募が集中し、特に従業員数一〇〇人以下の中小企業への応募が少ない。大学関係の皆様には、これから成長が期待できる中小企業に積極的にチャレンジするようご指導をお願いしたい」と依頼した。

引き続き、埼玉工業大学就職課次長の角田勝政氏が「埼玉工業大学インターンシップ事例紹介」と

題して発表、平成二五年度のインターンシップ実績、事前教育、流れなどを紹介、「インターンシップに参加した学生は、その後の就職活動でも主体的で動きが早く内定をもらう確率が高い。インターンシップと就職活動との関係性は深いと感じる」と実感を述べた。

その後、受入先の事例発表として、伊田テクノス(株)総務部係長の吉岡憲一氏と東彩ガス(株)総務部人事グループマネージャーの友成正彦氏が企業紹介、過去のインターンシップ受入実績などを発表。伊田テクノスの吉岡氏は受入の目的として、①自社の魅力をPRでき

る、②職場の活性化が図れる、③指導員のレベルアップが期待できる、そして一番の理由は④優秀な人材と出会えることと強調し、「平成二四年度には実習生の中から初めて採用に結びつき、活躍いただいている」と語り、東彩ガスの友成氏はカリキュラムや実施後の報告会の内容などを紹介、成果として、「学生からの率直な感想を聞くことが楽しみであり、刺激にもなる。そして何より当社の実習を通して学生に新たなきずきが生まれているのが嬉しい」と微笑んだ。

大学および受入先の事例発表後は約一時間にわたり情報交換会を開催した。

ら受入先側と大学側がマッチング率向上と、より質の高いインターンシップの実現に向けて今年度の状況や今後の見通し、それぞれの留意事項、要望事項などを忌

憚なく話し合うことが目的で開催され、会場では積極的にかつ熱心に情報交換する姿が見てとられた。



情報交換会の様子



満席となった会場

■大学生インターンシップ推進事業ガイダンス・情報交換会 参加受入先

大学 (五十音順)

◇受入先◇

相澤鐵工所、曙ブレーキ工業、アズ企画設計、伊田テクノス、ウエルディングアロイズ・ジャパン、白田フラインモーターズスクール、ウムヴェルト、ヴァレオ・ジャパン、エヌ・ワイ・ケイ、大野建設、加藤建設工業、関東食糧、埼玉ゴム工業、埼玉県産業労働部産業人材育成課、埼玉りそな銀行、サンケン電気、心司会介護老人保健施設しようわ、セントラル自動車技研、東彩ガス、中原建設、日信ソ

◇大学◇

青山学院大学、足利工業大学、跡見学園女子大学、川村学園大学、杏林大学、國學院大学、埼玉大学、埼玉学園大学、埼玉県立大学、埼玉工業大学、芝浦工業大学、十文字学園大学、淑徳大学、首都大学東京、城西大学、昭和女子大学、女子栄養大学、成蹊大学、聖学院大学、大東文化大学、東京家政学院大学、東京工科大学、東京国際大学、東京成徳大学、東京電機大学、東京都市大学、東洋大学、東洋学園大学、獨協大学、日本工業大学、日本女子大学、日本女子体育大学、日本薬科大学、文教大学、文京学院大学、目白大学、ものつくり大学、立教大学、立正大学



埼玉工業大学・角田勝政氏



伊田テクノス(株)・吉岡憲一氏



東彩ガス(株)・友成正彦氏

企業経営動向調査（14年4月実施）調査結果

調査概要

- 調査対象 ……………594社
 - 有効回答数 ……………165社
 - 回収率……………27.8%
- 業種内訳
 - 内製造業……………81社
 - 内非製造業……………84社
- 資本金別
 - 5000万円以下……………79社
 - 5000万円超～1億円以下……………39社
 - 1億円超～3億円以下……………13社
 - 3億円超……………34社

企業経営動向調査結果

I. 景況判断

1. 国内景気 DI （「上昇」－「下降」）		14年1月調査	14年4月調査	<ul style="list-style-type: none"> ●最近の DI は、前回調査からは大幅に悪化。特に非製造業は47ポイントの悪化となり、買い控え等の影響が大きくでているものとみられる。 ●先行きの DI は、全社では最近比ではほぼ横ばいとみており、景気が好転するとの見方は少ない。
最近	全社	+46	+8	
	内製造業	+44	+16	
	内非製造業	+47	±0	
先行き （6カ月先）	全社	+18	+9	
	内製造業	+16	+5	
	内非製造業	+21	+13	

2. 業界の景気 DI （「上昇」－「下降」）		14年1月調査	14年4月調査	<ul style="list-style-type: none"> ●最近の DI は悪化しており、特に非製造業は24ポイントの大幅悪化と、消費増税の影響を大きく受けていることがうかがわれる。 ●先行きの DI は、非製造業でプラスに転じるものの、全社ベースでは「+1」と現状比横ばいと好況に転じるとの見方は少ない。
最近	全社	+17	-2	
	内製造業	+18	+4	
	内非製造業	+16	-8	
先行き （6カ月先）	全社	-3	+1	
	内製造業	-2	-6	
	内非製造業	-5	+8	

3. 自社の業況 DI （「上昇」－「下降」）		14年1月調査	14年4月調査	<ul style="list-style-type: none"> ●最近の DI は、前回調査比で非製造業は14ポイントの悪化となるものの、引き続き製造業・非製造業ともにプラスを維持しており、大きな変化はみられない。 ●先行き DI については、ほぼ横ばいで推移し、業況が好転するとの見方は少ない。
最近	全社	+12	+6	
	内製造業	+10	+11	
	内非製造業	+15	+1	
先行き （6カ月先）	全社	+1	+8	
	内製造業	-1	+5	
	内非製造業	+3	+11	

II-1. 経営動向（売上高）

1. 売上高 DI (対前四半期比)	実 績		見 通 し		<ul style="list-style-type: none"> ●14年1-3月期の売上高 DI は、駆け込み需要等の要因により高水準を維持している。 ●今後の見通し DI の4-6月期は、前四半期比で全社ベースで50ポイント悪化。駆け込み需要の反動減から、製造業、非製造業ともに大幅な悪化となるものの、7-9月期については、全社ベースで30ポイント改善し「+12」と売上は持ち直すものとみている。
	13/10-12	14/1-3	14/4-6	14/7-9	
全 社	+32	(+16) +32	(-17) -18	+12	
内 製 造 業	+25	(+14) +30	(-20) -16	+1	
内 非 製 造 業	+40	(+17) +33	(-14) -19	+23	

(注) 14/1-3、14/4-6月期の上段の()内の数値は14年1月調査時の見通し

2. 経常利益 DI (対前四半期比)	実 績		見 通 し		<ul style="list-style-type: none"> ●14年1-3月期の経常利益 DI は、前四半期比で、全社では横ばいで、引き続き高水準を維持するものの、4-6月期は売上高同様、大幅な悪化となり、7-9月期は製造業、非製造業ともに持ち直すものとみている。
	13/10-12	14/1-3	14/4-6	14/7-9	
全 社	+22	(+10) +19	(-23) -27	+7	
内 製 造 業	+16	(+11) +25	(-20) -22	-3	
内 非 製 造 業	+29	(+9) +13	(-26) -33	+16	

(注) 14/1-3、14/4-6月期の上段の()内の数値は14年1月調査時の見通し

III. その他

1. 製品の在庫水準 DI (「過大」-「不足」)		14年1月調査	14年4月調査	<ul style="list-style-type: none"> ●最近の DI は、前回調査比「+3」と駆け込み需要に伴う在庫積み増しの影響がみられる。 ●先行きの DI は、さらに在庫水準が低下し、適正水準に近づくとみている。
最 近	全 社	+8	+11	
	内 製 造 業	+14	+19	
	内 非 製 造 業	+2	+4	
先 行 き (6カ月先)	全 社	+3	+2	
	内 製 造 業	+8	+7	
	内 非 製 造 業	-2	-4	

2. 生産・営業用設備 DI (「過剰」-「不足」)		14年1月調査	14年4月調査	<ul style="list-style-type: none"> ●最近の DI は、わずかに過剰感が低下、また、先行き DI は、現状比で大きな変化はみられず、設備投資需要の盛り上がりは期待できない状況にある。
最 近	全 社	-9	-3	
	内 製 造 業	-15	-4	
	内 非 製 造 業	-3	-2	
先 行 き (6カ月先)	全 社	-3	-1	
	内 製 造 業	-4	+1	
	内 非 製 造 業	-3	-2	

3. 雇用人員 DI (「過剰」 - 「不足」)		14年 1月調査	14年 4月調査	<ul style="list-style-type: none"> ●最近の DI は、非製造業では引き続き大幅な不足状態が続いている。 ●先行きの DI は、現状比で製造業ではほぼ適正水準に戻るものの、非製造業は依然大幅な不足状況が続くものとみている。
最 近	全 社	-20	-14	
	内 製 造 業	- 5	- 3	
	内非製造業	-35	-25	
先 行 き (6カ月先)	全 社	-13	-13	
	内 製 造 業	+ 9	+ 1	
	内非製造業	-35	-27	

4. 資金繰り DI (「楽」 - 「厳しい」)		14年 1月調査	14年 4月調査	<ul style="list-style-type: none"> ●DI は、現状、先行きとも大きな変化はみられず、特に繁忙感はみられない。
最 近	全 社	+ 6	+ 9	
	内 製 造 業	+ 3	+ 7	
	内非製造業	+ 9	+11	
先 行 き (6カ月先)	全 社	+ 2	+ 4	
	内 製 造 業	+ 1	+ 1	
	内非製造業	+ 7	+ 6	

5. 販売価格 DI (「上昇」 - 「下落」)		14年 1月調査	14年 4月調査	<ul style="list-style-type: none"> ●最近の DI は、非製造業は上昇傾向は落ち着くものの、製造業は引き続き下落傾向が続くとみている。
最 近	全 社	- 2	- 6	
	内 製 造 業	-14	-12	
	内非製造業	+10	+ 1	
先 行 き	全 社	- 6	- 4	
	内 製 造 業	-17	-16	
	内非製造業	+ 5	+ 7	

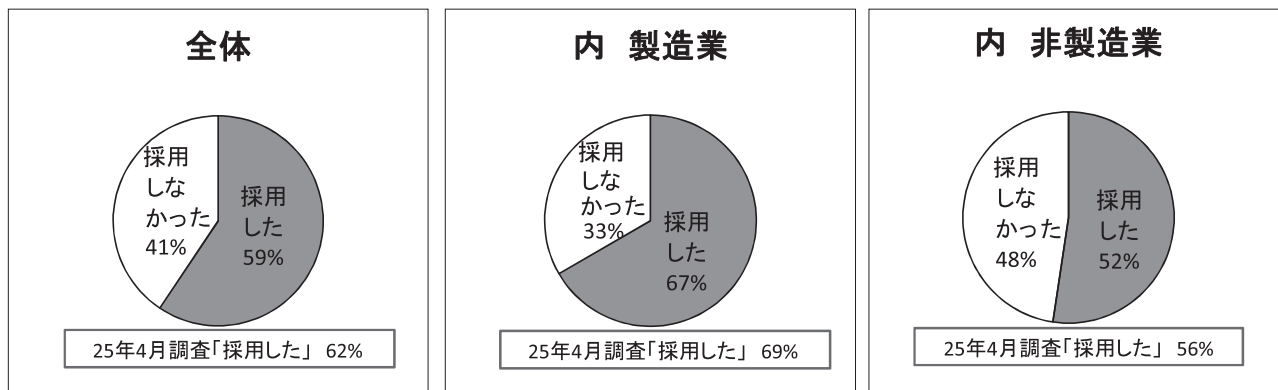
6. 仕入価格 DI (「上昇」 - 「下落」)		14年 1月調査	14年 4月調査	<ul style="list-style-type: none"> ●現状と先行きともに DI は、「+42」と依然仕入れ価格が上昇との回答が多くなっている。
最 近	全 社	+36	+42	
	内 製 造 業	+36	+46	
	内非製造業	+37	+39	
先 行 き	全 社	+45	+42	
	内 製 造 業	+50	+41	
	内非製造業	+39	+42	

特別調査「新卒採用動向、外国人留学生採用状況及び賃金改定に関する調査」

1. 平成26年度（平成26年4月採用）の新卒者採用の有無及び平成27年度（平成27年4月採用）計画について

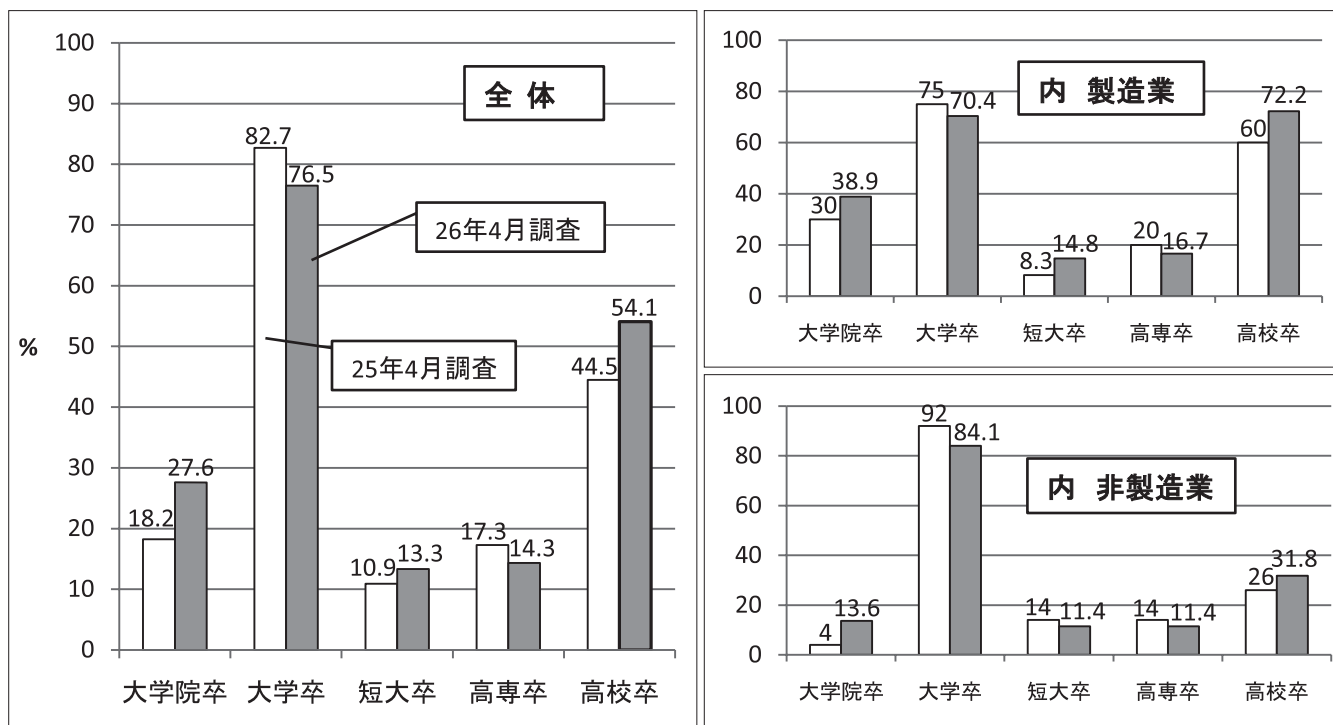
(1) 平成26年4月新卒採用を行いましたか。

回答数：全体165（内製造業81、内非製造業85）



◇アベノミクス効果により経済は改善したものの、新卒採用については昨年度比ではほぼ横ばいにとどまっている。

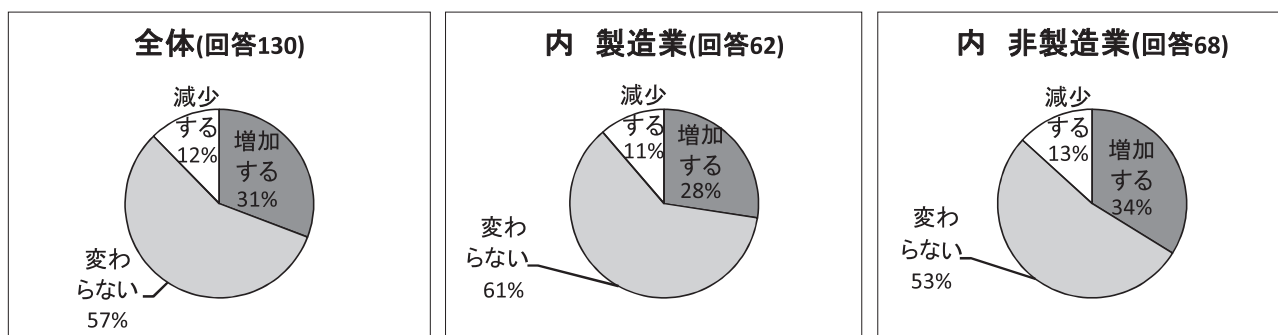
(2) (1)で採用したと回答した先に…採用した新卒の学歴は（複数回答可）。



◇学歴別採用状況は、大卒採用率が最も多く、次に高校卒となっている。

◇前年度との比較では、大学院卒と高校卒を採用した企業が増加しており、特に製造業では大学院卒の採用は約40%に、高校卒の採用は約70%となっている。

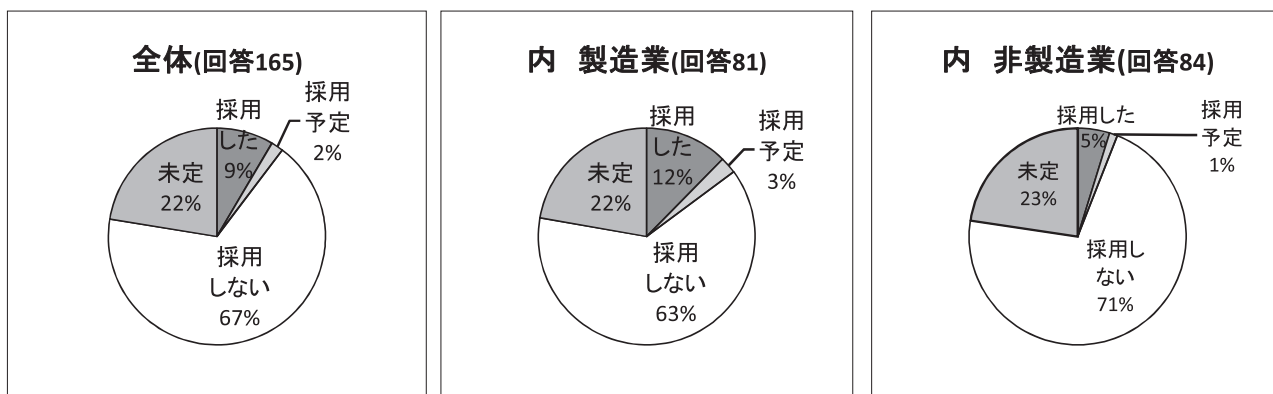
(3)すべての回答先に…平成27年4月の採用予定は平成26年度採用実績に比べてどのようになりますか。



◇平成27年度の採用予定については、「変わらない」が半数以上となっているが、製造業、非製造業とも「増加する」が「減少する」を上回っており、新卒の採用は今年度よりは増加するとみられる。

2. 外国人留学生の採用について

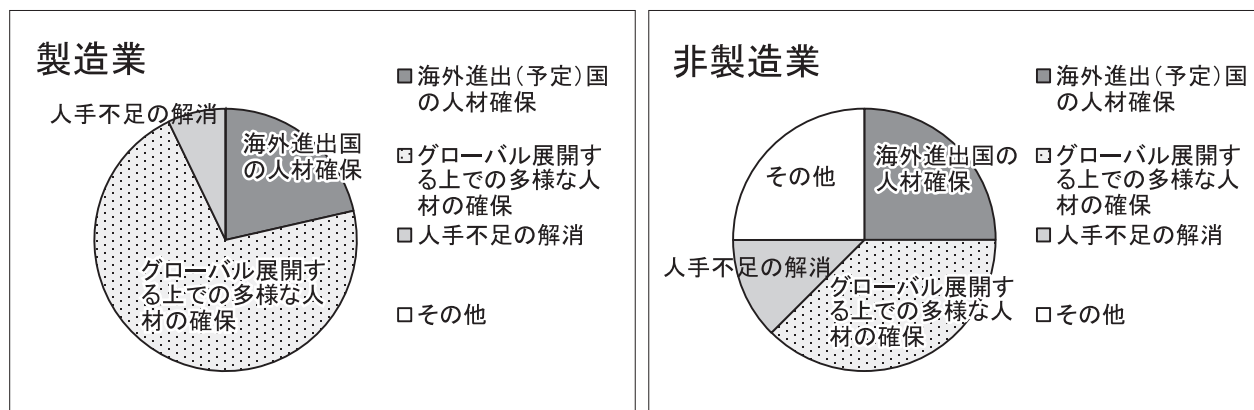
(1) 平成26年度中（26年4月～27年3月）に外国人留学生を採用した、または採用する予定がありますか？



◇外国人留学生を「採用した」または「採用予定」と回答した企業は、11%となり、業種別にみると製造業は15%、非製造業は6%となっており、製造業の方が外国人留学生の採用意欲が高いことがうかがわれる。

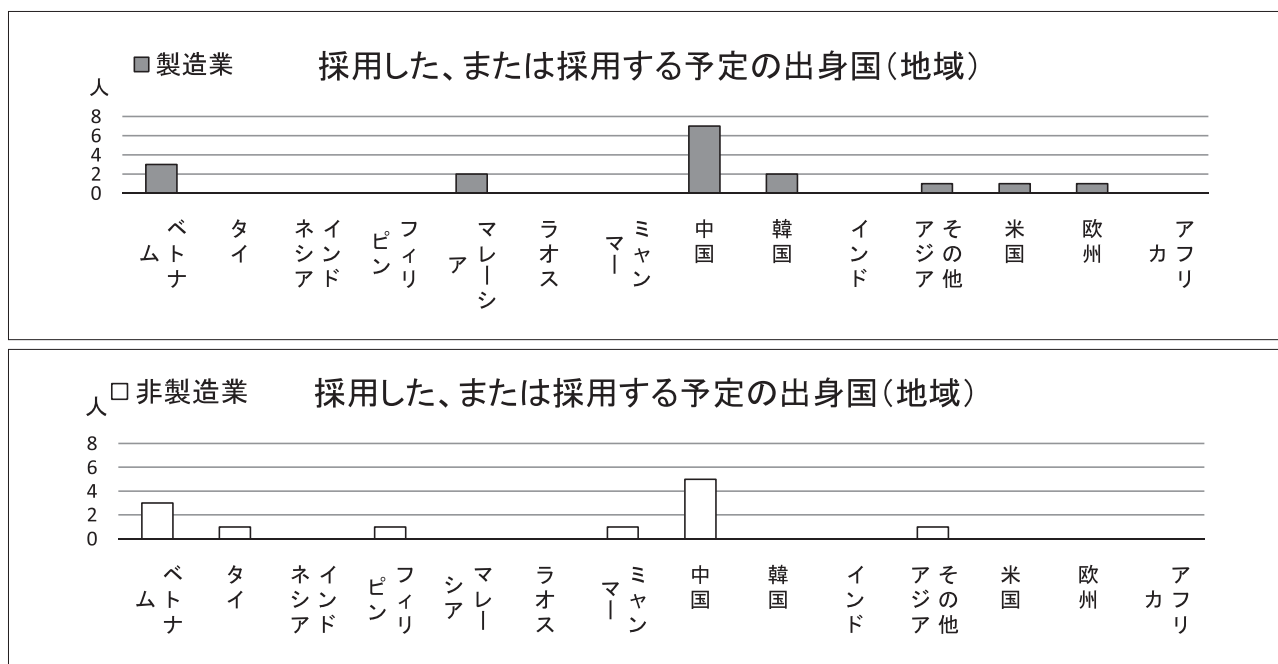
(2) 外国人留学生を採用する理由は？（複数回答可）

* (1)で「採用した」または「採用する予定」と回答した先に質問。



◇外国人留学生を採用する理由としては、製造業、非製造業とも「グローバル展開する上での多様な人材の確保」という理由が最も多く、次いで「海外進出(予定)国の人材確保」となっている。

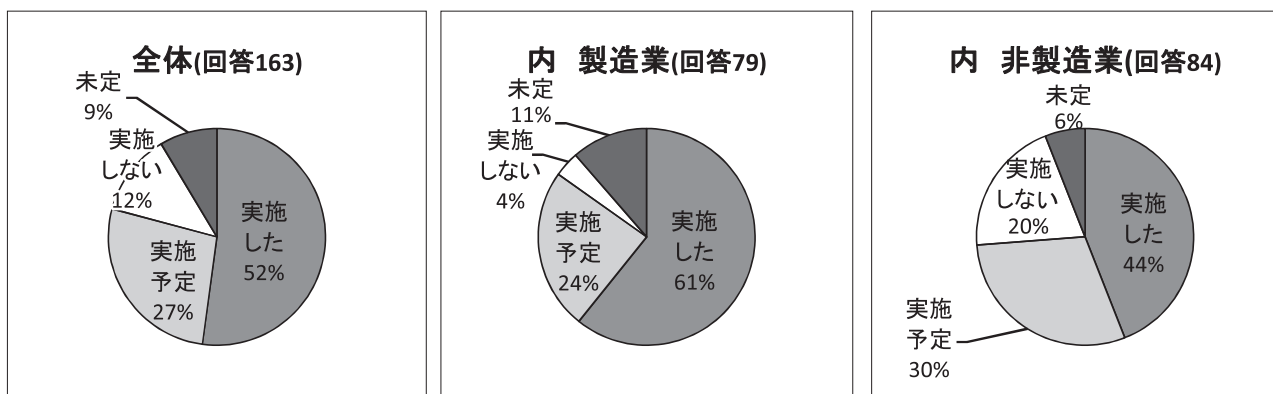
(3) 採用した、または採用する予定の外国人留学生の出身国(地域)は？（複数回答可）



◇製造業、非製造業ともに出身国は中国が最も多く、ベトナムが次いでいる。

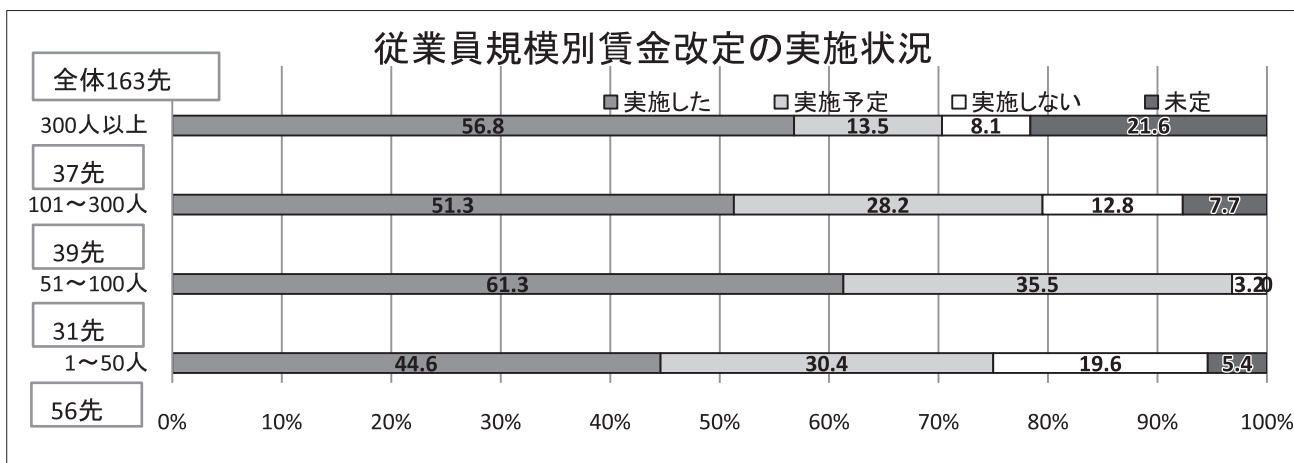
3. 平成26年度の賃金改定結果（見込み）について

(1) 平成26年度は賃金改定を実施しましたか？



◇賃金改定を「実施した」または「実施予定」の合計は、製造業は回答79先の中で67先・85%、非製造業は回答84先の中で62先・74%で、全体でも8割の企業で実施・実施予定と回答している。

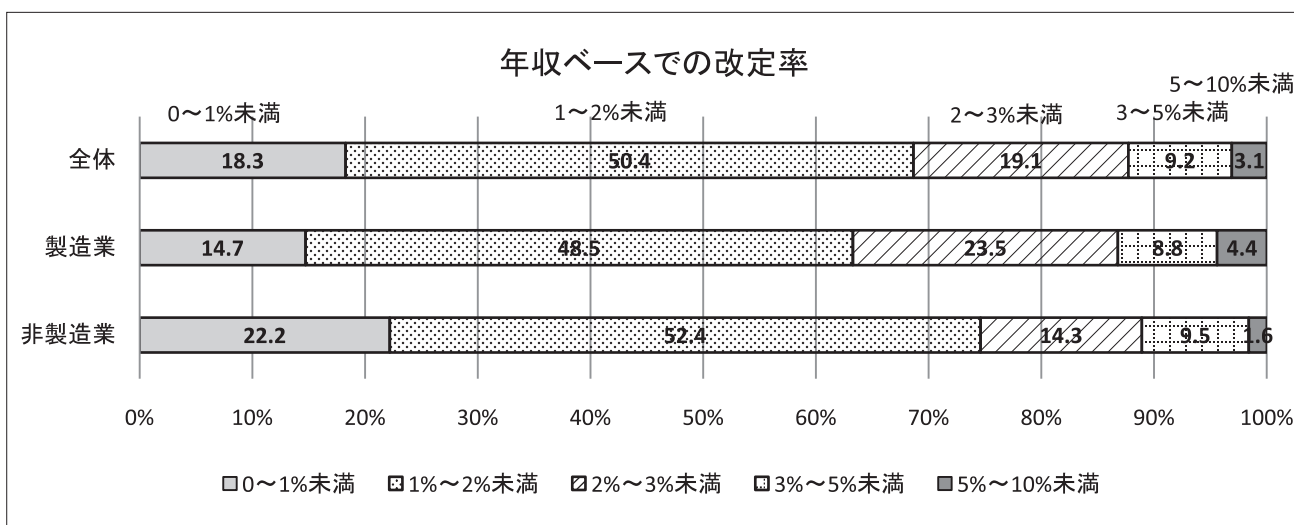
*従業員数別賃金改定の実施状況



◇従業員規模別の賃金改定の実施状況（実施済・実施予定）は、従業員51~100人以下の規模は97%と極めて高く、次いで101~300人以下が80%、1~50人は75%、300人以上は70%と、最も低くなっている。

(2) 年収ベースでの改定率の水準は？

(1)の質問で、「実施した」及び「実施する予定」と回答した先に質問



◇年収ベースの改定率の水準は、製造業、非製造業とも「1~2%未満」の改定が最も多く、約50%を占めており、次いで「2~3%未満」が19%、「3%以上」の回答は12%となっている。

第4回西村会長杯 親睦ゴルフ大会主要結果
 (平成26年6月13日(金) 武蔵カントリークラブ 豊岡コース)

1. 上位入賞者 (ダブルペリア/敬称略)

順位	氏名	会社名	役職名	アウト	イン	グロス	HC	ネット
優勝	植田 耕作	日本メタルガasket(株)	代表取締役会長	39	41	80	8.4	71.6
準優勝	園部 明彦	(株)中央医研	代表取締役社長	47	51	98	25.2	72.8
3位	杉田 圭三	(株)CWM総合経営研究所	代表取締役社長	48	48	96	22.8	73.2
4位	大野 年司	大野建設(株)	代表取締役社長	53	52	105	34.8	70.2
5位	満岡 隆一	ボッシュ(株)	専務取締役	45	52	97	24.0	73.0

※大野氏、満岡氏は初参加で三位以上入賞の権利が無いため、それぞれ、四位、五位となった。

バスコロ	植田 耕作	日本メタルガasket(株)	代表取締役会長	39	41	80	—	—
------	-------	----------------	---------	----	----	----	---	---

2. シニアの部

優勝	杉田 圭三	(株)CWM総合経営研究所	代表取締役社長	48	48	96	22.8	73.2
準優勝	田中徳兵衛	セントラル自動車技研(株)	代表取締役社長	55	55	110	36.0	74.0

3. グランドシニア

優勝	植田 耕作	日本メタルガasket(株)	代表取締役会長	39	41	80	8.4	71.6
----	-------	----------------	---------	----	----	----	-----	------

第4回西村会長杯争奪 会員親睦ゴルフ大会を開催
 日本メタルガasket・植田耕作
 会長が総合の部、グランドシニア
 の部優勝、バスコロも獲得

西村和義会長杯争奪の第四回目となる会員親睦ゴルフ大会が、六月二三日(金)、武蔵カントリークラブ 豊岡コースにおいて、八組三〇

名が参加して開催された。梅雨に入り前日まで降雨続きだったが、当日の朝は快晴となり、絶好のゴルフ日和となった。芝生の緑が一番きれいな時期の名門コースで、アウトとイン四組づつに分かれての同時スタートにより日頃の腕前を競った。

朝のミーティングでは、細沼哲夫競技委員長(日本伸管(株)代表取締役会長)の挨拶に続き、ルール説明や初参加の方の紹介などが行われた。今回は出場三〇名中七名の方が初参加となった。

前半のプレーを終えたところで雷雨となり、後半のスタートは予定時間より四〇分ほど遅れたが、その後は中断もなくホールアウトすることができた。

ダブルペリア方式によりスコアを集計し、順位を決定するこの大会で、総合優勝となる第四回西村会長杯はアウト三九、イン四一、グロス八〇、ハンデ八・四、ネット七一・六で植田耕作氏(日本メタルガasket(株)代表取締役会長)が獲得、植田会長は七〇歳以上で競うグランドシニアの部でも優勝、さらにバスコロ賞も獲得し、トリプル受賞となった。六〇歳以上の参加者で競うシニアの部では優勝は杉田圭三氏(株)CWM総合経営研究所代表取締役社長が獲得した。なお、この大会

では初参加の方は三位以上入賞の権利は無しとしている。

表彰式は、細沼競技委員長が開会挨拶、藤池副競技委員長の進行により総合優勝の西村会長杯は西村和義本会会長から、そして、シニア優勝、グランドシニア優勝、順位賞などは細沼競技委員長よりそれぞれの受賞者に授与された。

その後、懇親会では、各賞を獲得された方々がスピーチ、そして今回初参加の方々が自己紹介を行い、情報交換ならびに懇親なども図られ、和やかに閉会となった。

なお、今回は、十二月五日(金)、クラブハウスがリニューアルされた武蔵カントリークラブ・笹岡コースで開催を予定している。



スタート前の集合写真



シニアの部優勝のCWM総合経営研究所・杉田圭三社長



西村会長杯、グランドシニア優勝、バスコロ賞受賞の日本メタルガasket・植田耕作会長



プレイ後の成績発表・懇親会

自殺の業務上認定の社会的仮説

弁護士 安西 愈

労働者の自殺をめぐる労災の業務上認定とそれに伴う使用者の安全配慮義務違反による損害賠償という問題が、わが国企業社会では問題となっている。

それは、自殺の真因は不明なことが多く、確かに長時間労働は問題であるにしても、労災認定基準の発症前一カ月のおおむね一六〇時間を超える時間外労働といった長時間

ポイント労働法

時間外労働が、果たして、真の原因かについて、「長時間労働と精神疾患の発症との明確な関連性はまだ十分には示されていない。」(独法産医総研、原谷隆史教授)という疑問がある。

また、自殺そのものは労災とは認められず、業務上疾病が補償対象であり、「うつ病等の発症→自殺」という認定が必要である。にもかかわらず、労災事案の七六%の者は、事前に精神科医等の診断を受けておらず、ある日突然の自殺という場合が

多く、事前に予見することは困難であるとされている(厚生労働省委託調査)。

すなわち、「自殺を予測する適切な方法は残念ながら存在しない。」(高橋祥友教授訳「自殺予防・臨床マニュアル」というように、自殺の真因は不明というのが事実であろう。

そこで、本当に業務が原因での自殺なのかと疑問を抱く使用者も多い。

厚生労働省の労災認定基準である、前記「一六〇時間」とか、「中」程度と評価される出来事の後には恒常的な長時間労働(月一〇〇時間程度となる時間外労働)が認められる場合」といった認定基準により、ある日突然の自殺があった後に、被災労働者に関し、事後において職権で遺族や会社関係者から聴取し、それをもとに、調査を行い、認定基準にあてはめて認定するのが通常である。

この場合には多くの関係者は被災者の自殺を哀悼し、同情的となるのが一般的なので、結局基準に該当する方向での資料が収集されることが多い。

このような方法で行われる自殺の業務上認定は、果たして本

当にそれが業務上の原因に基づくものであったか否かは不明であつても、認定基準によつて業務上と認定される。これは「長時間労働→うつ病等→自殺」といった、それが真実でなく仮に仮説であつたとしても社会的施策として、医学的な立場を離れて社会的に承認を得たものになっている。

したがって、「労働者が労働日に長時間にわたり業務に従事する状況が継続するなどして、疲労や心理的負荷等が過度に蓄積すると、労働者の心身の健康を損なう危険のあることは、周知のところである。」として、使用者は労働者の健康に配慮して労働者の従事する作業を適切に管理するように努めるべき義務があり、労働者の心身の健康を損なうことがないよう配慮すべき義務を負う(最高裁二小判平一二・三・二四、電通事件)ということになる。使用者として、真の自殺原因は不明で、真因はどうかであろうと、いわばこれがわが国の社会的仮説であり、政策なのであるから、社会的合意として定着したものとして理解せざるを得ないのが現実である。

採用に関する埼玉県教育委員会 教育長より要請を受ける

本会は、去る5月15日、県教育委員会関係教育長の訪問を受け、新規高等学校卒業予定者の積極的な採用について要請を受けました。

その内容は、経済状況に回復の兆しが見えつつある中で、より多くの採用枠の確保を本会に求めたものであります。

平成25年度の高校生の就職については、厳しいながらも明るさの見えた年でした。3月末の内定率は、各企業の御協力もあつちまして、前年を上回ることでございました。しかしながら、今後の経済状況も予断を許さない状況です。

こうした中、高校生の就職希望先は、県内に求める比率が高くなつてきているとともに、地元企業への就職希望が増えております。

各企業においては、新規高等学校卒業予定者等の採用に慎重になることは当然のことと思ひます。しかし、長い目で見れば、企業の将来を担う若い人材の確保も肝要かと存じます。

つきましては、21世紀の地元

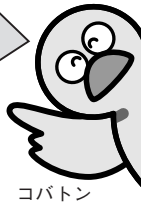


関根郁夫埼玉県教育委員会教育長(右)より要請を受ける
根岸専務理事

「彩の国さいたま」を担う新規高等学校卒業予定者を一人でも多く採用いただきますようお願いいたします。

なお、新規高等学校卒業予定者の求人につきましては、最寄りのハローワーク(公共職業安定所)にお申し込みくださいませうお願いいたします。

また、9月16日の選考開始日より前に高校生が企業見学等をする際に、選考に係る書類の持参を求めないこととされておりますので、周知をお願いします。



埼玉県からののお知らせ

夏の節電に御協力を

今年の夏の東京電力管内の電力需給については、余裕があるとの見通しが政府から出されています。

しかし、この見通しにおいては企業や家庭の定着した節電を見込んでいます。また、猛暑による需要急増や火力発電所の不測の停止などにより、電力需給がひっ迫する可能性もあります。皆様には、引き続き無理のない範囲で着実に節電を実施していただくよう、御協力をお願いします。

節電をお願いするのは、9月30日(火)までの平日9時～20時です。

具体的な節電メニュー等については、政府の節電ポータルサイトを御覧ください。

<http://seisuden.go.jp/>

お問い合わせ先

県産業労働政策課

(048-830-3723)

サイトマスマイルウーマンフェスタを開催します

女性の働くをもっと応援

平成26年9月13日(土)と14日(日)にさい



昨年度の様子

たまスーパーアリーナコミュニケーションセンターで「サイトマスマイルウーマンフェスタ」を開催します。

女性向けの商品やサービスを取り揃えた女性消費者のためのイベントです。美容やグルメ、子育て用品などの商品・サービスを展示・即売します。無料のサンプル配布やプレゼントが当たる抽選会も行います。

会場内では、トークショーやワークショップなども開催します。どなたでも無料で入場できます。詳細はHPを御覧ください。

多くの女性や御家族連れの御来場をお待ちしています。

お問い合わせ先

県産業支援課

(048-830-3908)

「働く女性応援講座」の参加者を募集します

県では、埼玉県経営者協会等と協力して、仕事と家庭の両立やキャリアアップを目指して頑張る女性を応援するための講座を実施しています。企業の女性従業員の研修の一環としても御利

用ください。
対象 県内在住・在勤で、現在働いている女性

開催日時 9月17日、10月22日、11月19日(いずれも水曜日、10時～16時)

9月27日(土曜日、13時～16時)

場所 With Youさいたまセミナー室

費用 無料

申込 電話、メールで県女性キャリアセンターへ(8月1日から受付開始)

備考 託児サービス有り(要問い合わせ)
各日の講座のテーマやその他詳細は、次のサイトを御覧ください。

<http://womancareer-saitama.jp/stepup/seminar/index.html>

申込み、問い合わせ先

県女性キャリアセンター

(048-601-5810)

m01311k@pref.saitama.jp

ウーマノミクス・トレインを運行中

ウーマノミクスを県内外に広くPRするため、西武グループ、東武鉄道と連携し、ウーマノミクス・トレインを



運行を始めたウーマノミクス・トレイン ©浦野千賀子・TMS

西武鉄道池袋線と、東武鉄道東武スカイツリーライン・日比谷線直通で11月下旬まで運行。

車体には、趣旨に賛同した漫画家・浦野千賀子氏の代表作「アタックNo.1」の主人公・鮎原こずえの「未来予想図」が描かれています。イラストは「アタックNo.1」のアニメーション制作会社が特別に描き下ろし。「仕事も趣味も私らしく」生きる未来の姿を御覧ください。

お問い合わせ先

県ウーマノミクス課

(048-830-3960)

夢ある埼玉就活プロジェクト
「合同企業面接会」を開催します

平成26年9月17日(水)に県内経済団体や金融機関と連携して、合同企業面接会を開催します。この面接会は県が実施している夢ある埼玉・就活プロジェクトの一環で、平成27年3月卒業予定の大学生等を対象に実施しています。

当日は参加企業がブースを構え、来場者との面接を実施します。当日の御見学は自由ですので、今後採用を検討されている事業所の皆様は是非見学にお越しください。

なお、面接会への参加は県内経済団体や金融機関と連携して決定しています。御不明な点は問い合わせ先まで御連絡下さい。

お問い合わせ先

県就業支援課

(048-830-4538)

埼玉県障害者ワークフェアを開催します

県では、事業主をはじめ広く県民の方に、障害者雇用について理解を深めていただく「埼玉県障害者ワークフェア」を、9月の障害者雇用支援月間に合わせて開催します。多くの皆様の御来場をお待ちしています。

1 イベント概要

(1) 優秀勤労障害者や障害者雇用優良事業所の表彰

(2) 障害者雇用サポートセミナー
障害者雇用に関する講演、パネルディスカッションなど

(3) 展示・販売・実演
障害者団体等による手作りパン、お菓子等の販売、特別支援学校生徒によるマッサージ体験など

2 日時等

(1) 日時 平成26年9月18日(木)午前11時～午後4時
(2) 場所 浦和コミュニケーションセンター(浦和駅東口下車徒歩すぐ・コムナール10階)

お問い合わせ先
県就業支援課
(048-830-4536)

労使コミュニケーション調査を実施しています

県では、厚生労働省からの委託を受けて標記調査を実施しています。

この調査は、無作為に抽出された常用労働者30人以上を雇用する事業所を対象として、労使間のコミュニケーション方法などを明らかにすることを目的とするものです。

調査結果は、概要を来年6月下旬に、詳細を来年11月中旬に厚生労働省が発表する予定です。

調査票の返送期限は7月22日(火)とさせていただきますので、御協力をお願いします。

お問い合わせ先

県勤労者福祉課

(048-830-4517)

日本経団連

提言・提案など

経団連定時総会を開催／榊原新会長を選任
— 新体制・事業方針などを承認／安倍首相がいさつで官民一体の改革取り組みを強調

備は順調であり、政策目標の実現とさらなる改革実行に向けて、榊原新会長の協力を求めた。

最後に、岸田外務大臣は、企業の海外展開にかかわる支援体制の整備、経済連携交渉の着実な前進などを説明し、経済界との対話を通じ、さまざまな施策を展開したいと述べた。

開会あいさつで米倉会長は、4年間の任期を振り返り、東日本大震災時の支援活動が最も心に残ったとして、本格的な再生に向けた取り組みの推進をあらためて呼びかけた。

また、全国11都市で実証実験を行う「未来都市モデルプロジェクト」の進捗状況と成果を紹介したうえで、環境・医療等の技術革新が新産業創出につながることに期待を示した。

さらにわが国の経済連携の進展を評価し、日EU間の業界対話が政府間交渉の契機となった経緯や中国との交流等、民間外交の重要性をあらためて強調した。

あいさつに立った榊原会長は、アベノミクスにより経済の好循環が始動しつつあるのが日本再興の絶好のチャンスと指摘。経済再生のカギはイノベーション、特に技術革新にあり、日本経済を牽引する新産業創出に向け「未来創造型技術立国」を目指すべきと述べた。

さらに、社会保障改革や農業の成長産業化など、経済・社会全体の大胆なイノベーションを巻き起こすこと、グローバルな成長を取り込むこ

とが重要であると強調。広域の経済連携の推進や国際的なイコール・フッティングの実現を求めた。

最後に今後の課題として、(1)「経団連ビジョン」の策定(2)政治や経済団体等との連携強化(3)中国・韓国をはじめ諸外国の政府・経済界との戦略的対話の推進——等に取り組みむとの意向を示した。

甘利内閣府特命担当相との懇談会開催
— 「骨太方針」「日本再興戦略」改訂の素案を踏まえ意見交換

経団連（榊原定征会長）は6月18日、都内で甘利内閣府特命担当大臣（経済財政政策）との懇談会を開催した。内閣府からは甘利大臣、西村康稔副大臣、小泉進次郎大臣政務官ほか幹部らが、経団連からは榊原会長、岩沙弘道審議員会議長をはじめ、副会長らが出席した。

冒頭、榊原会長は、「安倍政権の発足から約1年半、日本経済は経済指標が軒並み改善し、デフレからの脱却も近づきつつあるなど、大きくかつ確実な変化が生じている」と指摘。また、「骨太方針」ならびに「日本再興戦略」の改訂の素案において、経済界の要望が多く取り入れられた点を高く評価した。そのうえで、「今こそ政治と経済界が二人三脚で、日本の再興に向けて取り組んでいかなければならない」との考えを示した。

続いて甘利大臣から、「骨太方針」ならびに「日本再興戦略」の改訂について説明があった。そのなかで、「さまざまな政策を実行するうえで、政策効果を高めるためにも、デフレ脱却が重要である」「日本再興戦略」の改訂では、日本の「稼ぐ力」つまり収益力を高めることを目標に、農業、労働、医療などの分野において、これまでタブーとされてきた課題のすべてに取り組みむこととした

「今後とも経済界と連携し、経済の好循環を回すことで、日本経済を再生させていきたい」といった発言があった。

続く懇談では、榊原会長から、(1)法人税改革(2)エネルギー政策(3)社会保障・税一体改革(4)TPP（環太平洋経済連携協定）——の四つの政策課題について、経団連の基本的考え方を説明した。

これに対し甘利大臣は、一点目の法人税改革に関して、アベノミクスによる税収の上振れも活用しつつ、実質的な減税を実現することが重要と明言。アベノミクスによる構造改革の成果は恒久財源に近い性格があることを強調した。

二点目のエネルギー政策に関して、世界一厳しい安全基準をクリアした原子力発電所は、立地地域の理解を得つつ、再稼働を順次進めていくべきだと述べた。また、固定価格買取制度については、新エネルギーの導入促進を図りつつも、買取価格は随時、適正な水準に見直していくとの考えを示した。

三点目の社会保障・税一体改革について、来年10月からの消費税率の10%への引き上げは、安倍総理が今年7-9月期の経済状況等を慎重に

見極めつつ、年内に判断することを説明。また、社会保障給付の重点化・効率化については、医療情報のICT化や「見える化」を進めることで、重複受診の削減や健康増進を図り、医療費を抑制していくことが可能になると述べた。

四点目のTPPについては、日米間の交渉は8回目まで進展したこと、オーストラリア、メキシコなど他の10カ国との交渉を重点的に進めていることを強調。また、年内の交渉妥結が重要との見方も示した。

このほか経団連側から、「法人税減税の代替財源については、事業環境の国際的イコールフッティングの観点から検討すべき」「TPP交渉を梃子として、他の経済連携協定の交渉についても、担当大臣の強力なリーダーシップのもと推進していただきたい」「社会保障料負担の上昇が企業活動にブレーキをかけることのないよう、税と保険料の一体的見直しが必要」「人口減少に直面する日本においては、アジアの人材を活用することを検討すべき」「企業のみならず国民、大学などの国際競争力を強化することや、経済成長を加速する科学技術イノベーション政策に取り組むことが重要」「スマートシティ、スマートエネルギーなどに共通する『スマート化』は、日本のブランド・強みであり、これを世界に向けてアピールすることが重要」などの発言があり、活発な意見交換が行われた。

事業だより

五月一日～七月一日

- ◆五・二三 青年経営者部会平成二六年度定時総会（ロイヤルパインズホテル）
- ◆五・二六 第二回人事労務委員会（ソニックシティ）
- ◆五・二九 第一回農業ビジネス研究会（ソニックシティ）
- ◆六・九 第三回人事労務委員会（ソニックシティ）
- ◆六・一一 第二回トップセミナー（ソニックシティ）
- ◆六・一三 会員親睦ゴルフ大会（武蔵カントリー倶楽部豊岡コース）
- ◆六・一六 第三回トップセミナー（ソニックシティ）
- ◆六・二〇 第一回グローバル委員会（第七回埼玉アジアフォーラム）（さいたま商工会議所会館、労働法セミナー（新都心ビジネス交流プラザ））
- ◆六・二五 労働セミナー（新都心ビジネス交流プラザ）
- ◆六・三〇 第一回地域社会問題委員会（ソニックシティ）
- ◆七・三 第三回特別セミナー（ソニックシティ）
- ◆七・六 第四二回埼玉県実業団剣道大会（解脱練心館）
- ◆七・八 第三期労働法担当者実務講座第一講（ソニックシティ）
- ◆七・九 第四回トップセミナー（ソニックシティ）
- ◆七・一四 労働法担当者実務講座第二講（ソニックシティ）



第200回

▼サッカーとも関連するが、東京オリピックが昭和39年（1964）10月10日から開催され、その年6月16日には新潟地震発生、10月1日には東海道新幹線開業など時間の経緯は早く、50年になる。半世紀である。そのような折に、小生の仲間が集まり「2014サイエンスセミナーINつくば」を開催した。日本の最先端技術施設を有するつくば市で、今回は「地震と津波」について学ぼうと。

▼特別講演は、「地殻変動解析、地震動解析事例紹介」について工学博士の董勤喜先生、「防災教育向け津波シミュレーション技術の活用」については工学博士の朱日明先生で、参加者は解らないなりに懸命に耳をタンポにして聴き入った。その後、「防災ビジネスの現状とこれから」というテーマで、日立造船様の方から紹介もあった。

講演会後の親睦会では講師の先生方も参加して質問攻めに合う場面もあり、翌日は「つくばサイエンスツアー」と銘打って、「国土地理院」（地図と測量の科学館）、「宇宙航空研究開発機構」JAXA（筑波宇宙センター）をガイドの説

こんな時にこんな事を!

エッセイスト 和宮英之

明をうけながらの見学。参加者からは実に有意義なセミナーだったと好評を得た二日間だった。

▼そんな折に地元の新聞社から寄稿依頼があり、こんな記事を。多分、五十年前の六月十六日は、大安吉日だったと思う。何故ならば、当日、私の父母は村上で結婚式を挙げたことになっていたのです。

後日談ですが、母は発生時に車に乗って披露宴会場に移動しようとしていた矢先だったそうです。突然、ズシンと車に大きなショックを受けて、車から飛び降りようとしたのですが、近くの方から「飛び出したら危険だ!」と教えられ車でじっとし、『このようなお目出度い日に、車をぶつけるなんて!』と、でもラッキーだったのです。車に屋根の瓦が落ちてきたのは、その直後だったそうです。悲惨な状況を思い出話として今語るのには大きな視点の相違もあり、今だからこそ将来へ向けての教訓としていかなばならないと考えます。

「半世紀を経過して、太平洋側に引きずられた地殻変動は必ずどこかで戻るでしょう」とし、「禍は忘れた頃にやってくる」という言葉も古くからあります。それ以上に「神様と自然には決して逆らえない」と。(一部抜粋)

全国ネットの人材情報で、出向・移籍等の支援!

お気軽にご相談ください

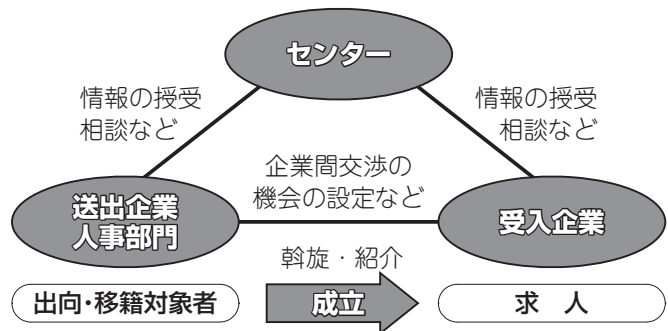
企業間の人材マッチングをサポートしています。

信頼と安心

経済・産業団体と厚生労働省の協力で設立された公益法人です。

無料

情報の提供、相談、あっせん費用はかかりません。



●お問い合わせ

☎048-642-1121 (土・日・祝日休)

http://www.sangyokoyo.or.jp/

出向・移籍の
専門機関



公益財団法人
産業雇用安定センター

埼玉
事務所

★第一回・第二回 第一種・第二種衛生
管理者受験のための対策講座
日時【第一回】八月六日(水)・七日(木)九
時三〇分～一六時三〇分

【第二回】九月四日(木)・五日(金)九
時三〇分～一六時三〇分
会場 ソニックシティ六〇二(八月六日)、
九〇六(八月七日)、六〇三(九
月四日・五日)

内容 出題傾向分析と合格学習法、関係
法令・理解度テストと解説・労働
衛生・労働生理・有害業務

講師 (株)ウェルネット専任講師 白井一
博氏(第一回) (株)ウェルネット
専任講師 中村文彦氏(第二回)

★第三次小笠原洋上研修第二回集合研
修
日時 八月二五日(月)九時三〇分～一六時
四五分
会場 ソニックシティ四〇四
内容 チームづくり・マネジメント講義・
演習・ガイダンス

講師 研修スタッフ
★平成二六年度第二回クローバル委員会
日時 八月二六日(火)一四時～一六時四〇
分
会場 ソニックシティ四階市民ホール
内容 アセアン主要国の現況と好事例・
失敗事例にみるベトナム進出・ビ
ジネス展開のポイント

講師 (株)フォーバル 海外ディビジョン
リサーチ&コンサルティンググル
ープ長 広幡勝典氏
★安全管理者選任時研修
日時 八月二八日(水)九時三〇分～二〇時
会場 ソニックシティ六〇三
内容 安全管理・安全教育・危険性また
は有害性等の調査及びその結果に
基づき講ずる措置等・関係法令

講師 (株)ウェルネット専任講師 只野和
好氏
★第五次小笠原洋上研修第三回集合研
修
日時 九月八日(月)九時三〇分～一六時四
五分
会場 ソニックシティ六〇二
内容 安全管理・安全教育・危険性また
は有害性等の調査及びその結果に
基づき講ずる措置等・関係法令

講師 シスコシステムズ合同会社 専務
執行役員 木下 剛氏
★働く女性応援講座(ウーマノミクス推
進委員会共催)
日時 九月一七日(水)一〇時～一七時
会場 WithYouさいたま
内容 自身のキャリアビジョンを考える
講師 経営研究所 染矢裕子氏
★第七回トップセミナー
日時 九月二四日(水)一四時～一六時

講師 シスコシステムズ合同会社 専務
執行役員 木下 剛氏
★第八回トップセミナー
日時 九月二九日(月)一四時～一六時三〇
分
会場 ソニックシティ四〇一
内容 禅に学ぶ成功するマネジメント
ビジネスコーチ(株)取締役・BCS
認定プロフェッショナルビジネス
コーチ 吉田有氏

講師 神戸大学大学院経営学専攻教授
鈴木竜太氏
★第五次小笠原洋上研修洋上・島内研
修
日時 九月二七日(土)～一〇月二日(木)
会場 おがさわら丸・父島
内容 出航式・研修二単位・ウォーク
ラリー・現地交歓会・課外活動は
か

講師 浅見 郁樹(旧 栗田 敏寿)
三國コカ・コーラボトリング(株)
取締役常務執行役員
赤地 文夫(旧 相談役 権名 幹芳)
★第九回トップセミナー
日時 一〇月二日(木)一三時三〇分～一六
時三〇分
会場 彩の国さいたま芸術劇場一階映像
ホール
内容 〃悩みを手放すことなく真の強
さを掴み取る生き方とは
講師 聖学院大学学長・東京大学名誉教
授 姜 尚中氏
★理事会・臨時総会
日時 一〇月九日(木)一四時～一八時
会場 パレスホテル大宮
内容 【理事会・臨時総会】理事・副会
長の選任・平成二六年度上期事業
報告
【特別講演会】私の経営哲学～人
間中心の経営
講師 キリンビール(株)元代表取締役社長
松沢幸一氏

講師 森田 美弘
日高市大字旭ヶ丘六二〇一
電話〇四二一九八四一四三三二
(資) 三千五百万円
(従) 五〇名
計量・測定・分析・試験機器製造業、
環境試験機製造販売

代表取締役 柴崎 猛
大里郡寄居町大字桜沢一五六〇一三〇
電話〇四八一五八一三〇〇一
(資) 三千六百万円

代表取締役 福島 隆
さいたま市北区宮原町二二二七一一
電話〇四八一六六九一〇五〇三
(従) 一一名

〈新入会のご案内〉

アキム(株)
代表取締役 栗原 博
坂戸市千代田五三三一一七
電話〇四九一二八八四八九〇
(資) 一千万円
(従) 六一名

精密機械製造業
(株)グランデ
代表取締役 志村 廣幸
さいたま市南区南浦和一三三一一二
フジモビル1F1B
電話〇四八八八六七九〇〇
(資) 一千万円
(従) 一〇名

人材派遣、職業紹介
サイエイホールディングス(株)
代表取締役 福島 隆
さいたま市北区宮原町二二二七一一
電話〇四八一六六九一〇五〇三
(従) 一一名

学習塾、英会話学校の経営管理・運営
(株)埼玉シミス
代表取締役 清水 卓治
さいたま市大宮区三橋三二二六六
電話〇四八八六三一〇八八
(資) 二千万円
(従) 五一名

警備業他
(株)シグマスタッフ大宮支店
代表取締役社長 平澤 繁樹
さいたま市大宮区桜木町四二二四二二
塚ビル2F
電話〇四八八六四七二六八五二
(資) 一千万円
(従) 七〇名

人材派遣事業、人材紹介事業、教育研
修事業他
(株)シバサキ製作所
代表取締役 柴崎 猛
大里郡寄居町大字桜沢一五六〇一三〇
電話〇四八一五八一三〇〇一
(資) 三千六百万円

自動車、精密機械部品の製造
(株)昭和技工業
代表取締役 岩井 崇
北足立郡伊奈町西小針七二二四
電話〇四八七二八二八三三二
(資) 三千万円
(従) 一一名

圧力回転継手、圧力屈折継手、ボール
継手の製造販売
日測エンジニアリング(株)
代表取締役 森田 美弘
日高市大字旭ヶ丘六二〇一
電話〇四二一九八四一四三三二
(資) 三千五百万円
(従) 五〇名

計量・測定・分析・試験機器製造業、
環境試験機製造販売
代表取締役 柴崎 猛
大里郡寄居町大字桜沢一五六〇一三〇
電話〇四八一五八一三〇〇一
(資) 三千六百万円

代表取締役 柴崎 猛
大里郡寄居町大字桜沢一五六〇一三〇
電話〇四八一五八一三〇〇一
(資) 三千六百万円

〈代表者変更〉

川口信用金庫
理事長

代表取締役 栗原 博
坂戸市千代田五三三一一七
電話〇四九一二八八四八九〇
(資) 一千万円
(従) 六一名

代表取締役 志村 廣幸
さいたま市南区南浦和一三三一一二
フジモビル1F1B
電話〇四八八八六七九〇〇
(資) 一千万円
(従) 一〇名

代表取締役 福島 隆
さいたま市北区宮原町二二二七一一
電話〇四八一六六九一〇五〇三
(従) 一一名

代表取締役 栗原 博
坂戸市千代田五三三一一七
電話〇四九一二八八四八九〇
(資) 一千万円
(従) 六一名

代表取締役 志村 廣幸
さいたま市南区南浦和一三三一一二
フジモビル1F1B
電話〇四八八八六七九〇〇
(資) 一千万円
(従) 一〇名

代表取締役 福島 隆
さいたま市北区宮原町二二二七一一
電話〇四八一六六九一〇五〇三
(従) 一一名

代表取締役 栗原 博
坂戸市千代田五三三一一七
電話〇四九一二八八四八九〇
(資) 一千万円
(従) 六一名

代表取締役 志村 廣幸
さいたま市南区南浦和一三三一一二
フジモビル1F1B
電話〇四八八八六七九〇〇
(資) 一千万円
(従) 一〇名

代表取締役 福島 隆
さいたま市北区宮原町二二二七一一
電話〇四八一六六九一〇五〇三
(従) 一一名

代表取締役 栗原 博
坂戸市千代田五三三一一七
電話〇四九一二八八四八九〇
(資) 一千万円
(従) 六一名

代表取締役 志村 廣幸
さいたま市南区南浦和一三三一一二
フジモビル1F1B
電話〇四八八八六七九〇〇
(資) 一千万円
(従) 一〇名

代表取締役 福島 隆
さいたま市北区宮原町二二二七一一
電話〇四八一六六九一〇五〇三
(従) 一一名

代表取締役 栗原 博
坂戸市千代田五三三一一七
電話〇四九一二八八四八九〇
(資) 一千万円
(従) 六一名

代表取締役 志村 廣幸
さいたま市南区南浦和一三三一一二
フジモビル1F1B
電話〇四八八八六七九〇〇
(資) 一千万円
(従) 一〇名

代表取締役 福島 隆
さいたま市北区宮原町二二二七一一
電話〇四八一六六九一〇五〇三
(従) 一一名

代表取締役 栗原 博
坂戸市千代田五三三一一七
電話〇四九一二八八四八九〇
(資) 一千万円
(従) 六一名

代表取締役 志村 廣幸
さいたま市南区南浦和一三三一一二
フジモビル1F1B
電話〇四八八八六七九〇〇
(資) 一千万円
(従) 一〇名

代表取締役 福島 隆
さいたま市北区宮原町二二二七一一
電話〇四八一六六九一〇五〇三
(従) 一一名

代表取締役 栗原 博
坂戸市千代田五三三一一七
電話〇四九一二八八四八九〇
(資) 一千万円
(従) 六一名

代表取締役 志村 廣幸
さいたま市南区南浦和一三三一一二
フジモビル1F1B
電話〇四八八八六七九〇〇
(資) 一千万円
(従) 一〇名

代表取締役 福島 隆
さいたま市北区宮原町二二二七一一
電話〇四八一六六九一〇五〇三
(従) 一一名

代表取締役 栗原 博
坂戸市千代田五三三一一七
電話〇四九一二八八四八九〇
(資) 一千万円
(従) 六一名

代表取締役 志村 廣幸
さいたま市南区南浦和一三三一一二
フジモビル1F1B
電話〇四八八八六七九〇〇
(資) 一千万円
(従) 一〇名

代表取締役 福島 隆
さいたま市北区宮原町二二二七一一
電話〇四八一六六九一〇五〇三
(従) 一一名

代表取締役 栗原 博
坂戸市千代田五三三一一七
電話〇四九一二八八四八九〇
(資) 一千万円
(従) 六一名

代表取締役 志村 廣幸
さいたま市南区南浦和一三三一一二
フジモビル1F1B
電話〇四八八八六七九〇〇
(資) 一千万円
(従) 一〇名

代表取締役 福島 隆
さいたま市北区宮原町二二二七一一
電話〇四八一六六九一〇五〇三
(従) 一一名

代表取締役 栗原 博
坂戸市千代田五三三一一七
電話〇四九一二八八四八九〇
(資) 一千万円
(従) 六一名

代表取締役 志村 廣幸
さいたま市南区南浦和一三三一一二
フジモビル1F1B
電話〇四八八八六七九〇〇
(資) 一千万円
(従) 一〇名

代表取締役 福島 隆
さいたま市北区宮原町二二二七一一
電話〇四八一六六九一〇五〇三
(従) 一一名